

初級後期～中級前期の読み教材

日本のくらしと文化

日本語駆け込み寺教材開発部
代表 目黒真実

前 書 き

この教材は、初級の後半から中級前期かけて使う読解教材で、これまで学んだことの復習と中級への渡り教材として作成されました。

本教材は、最初、＜WEB：日本語駆け込み寺＞の使用権フリーの教材「くらしの歳時記」として作成されました。それを元にして、教室で使用する教材へと編集し直し、更に第二部に「くらしのマナー」をつけ加えたのが、この「日本のくらしと文化」です。

本教材は、言葉と文化は切り離せないものだとの考えから、「日本人のくらしと文化」を外国の日本語学習者に紹介する目的で編集されています。この教材を通して、学習者の皆さんが、日本という国、また日本人のくらしと文化がいかに東アジアと深く結びついているかを知っていただければ幸いです。昨今、日本とアジアの間には憂うべき事態も存在していますが、それを乗り越えて人と人の交流が進み、友好関係が育つことを願ってやみません。

なお、作成に当たっては、「フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』」をはじめ、「イラストレーターわたなべふみ・WEBに無料で使えるイラストクリップアート・フリー素材」「学校イラスト素材」「教師のコンビニ」など、善意あるフリー素材集を提供してくださっているWEBから、多くのイラストや写真を使わせていただきました。使用権フリーの教材を公開している「日本語駆け込み寺」の代表として、心からお礼申し上げます。

2006年8月30日

目 次

第一部 くらしの歳時記

1月の行事とくらし
2月の行事とくらし
3月の行事とくらし
4月の行事とくらし
5月の行事とくらし
6月の行事とくらし
7月の行事とくらし
8月の行事とくらし
9月の行事とくらし
10月の行事とくらし
11月の行事とくらし
12月の行事とくらし

第二部 くらしのマナー

1 お辞儀 <small>じぎ</small> と握手 <small>あくしゅ</small>
2 あいさつと名刺 <small>めいし</small>
3 上座 <small>かみざ</small> と下座 <small>しもざ</small>
4 手みやげ <small>て</small> と饂飩 <small>せんべつ</small>
5 面接 <small>めんせつ</small> の知識 <small>ちしき</small> とマナー
6 会社 <small>かいしゃ</small> での言葉 <small>ことば</small> づかい
7 二十四節気 <small>にじゅうしせつき</small> と季節 <small>きせつ</small> の花 <small>はな</small>

<資料>

日本史略表
-------	-------

初級後期～中級前期

第一部

くらしの^{さいじき}歳時記

1月の行事とくらし

あけましておめでとうございます



1月1日から1月3日までを三が日、1月7日までを松の内と呼び、この期間を「正月」と呼んでいます。元日は国民の祝日となっていて、官公庁や銀行は12月29日から1月3日までお休みです。

昔から、1年の最初の日、1月1日「元日」は、私たちに命を与えてくれる「歳神（としがみ）さまを迎え、おまつりする日でした。お正月に人と会ったときには「あけまして、おめでとうございます」と言いますが、このあいさつは、もともとは年が明けて、歳神さまを迎えるときの感謝の言葉でした。今でも私たちは歳神さまをお迎えするために、門松を門の前に飾ったり、鏡餅を

そなえたり、前日に準備したおせち料理を食べたりしています。

そして、子供は親や親戚からおとしだまをもらいます。最近では、プラスチック製の門松や鏡餅を使ったり、おせちをデパートで買う家庭も増えました。現代人の暮らしが忙しいのはわかりますが、できればこういうものは自分で作りたいですね。



門松



鏡餅

の暮らしが忙しいのはわかりますが、できればこういうものは自分で作りたいですね。

さて、今日では、「歳をとる」ことは悪いように言われますが、もともと「歳をとる」ことは人々に歓迎されていました。正月、歳神さまは全ての人や物に新しい生命を吹き込むために現れると伝えられています。つまり、「歳をとる」ということは、一年に一度、新たに生まれ変わることだったのです。今の言葉で言いますと、命のリセットですね。

新しいことば

さん にち 三が日：	りょうり おせち料理：
まつ うち 松の内：	としだま お年玉：
よ 呼ぶ：	せい プラスチック製：
かんこうちょう 官公庁：	く 暮らし：
むか 迎える：	かんげい 歓迎する：
まつる→おまつりする：	すべ 全て：
あけましておめでとう：	せいめい ふ こと 生命を吹き込む：
あいさつ：	つまり：
もともと：	あら 新た (な)：
かどまつ 門松：	う か 生まれ変わる：
かみもち 鏡餅：	リセット：
そな 供える：	

使いましょう

1 ～から～まで

◆1月1日から1月3日までを、三が日と呼んでいます。

◇週休二日制の会社が多いので、_____から_____までを週末と呼んでいます。

◇私の国では、_____は_____から_____までです。

2 ～たり～たり

◆門松を門の前に飾ったり、鏡餅を^{そな}供えたり、おせち料理を食べたりします。

◇休みの日は、_____たり_____たりします。

◇今日は_____たり_____たりの^{てんき}天気になるでしょう

3 ～ために [目的]

◆正月、神さまは人や物に新しい生命を与えるために現れると伝えられています。

◇私は_____ために、日本語を^{べんきょう}勉強しています。

◇私の^{はは}母は_____ために、^{まいにち}毎日_____くれます。

お正月の食べ物 ー祝い膳ー

<おせち料理>



デパートなどでおせち料理のセット（左の絵）を作って売っていますが、昔は年の暮れにお母さんが手間暇かけて作ってくれました。

このほかに、汁の中にお餅を入れて食べる「お雑煮」があります。お餅の上に色々な具を乗せて食べます。お父さんたちが楽しみにしているのが「おとそ」です。お正月に飲む薬酒です。

実際には、「おとそ」を飲むのは最初の一杯だけで、あとは好きなお酒を心ゆくまで味わいます。これらをお正月の「祝い膳」と呼んでいます。

新しいことば

年の暮れ：

手間暇かける：

汁：

餅：

お雑煮：

具を乗せる：

楽しみにする：

おとそ：

薬酒：

心ゆくまで：

味わう：

祝い膳：



初詣の様子

初詣の参拝客で賑わうお寺の様子です。もともとは地元の氏神さまにお参りするのですが、最近では有名なお寺や神社にお参りする人が増えました。

出典：フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

【話しましょう】

- 1 日本では、いつからいつまでを正月と呼んでいますか。
- 2 日本では、元旦はどんな日ですか。
- 3 日本では、お正月に人と会ったとき、どんなあいさつをしますか。
- 4 日本人は、お正月にどんなものを食べますか。
- 5 あなたの国のお正月は、いつからいつまでですか。
- 6 あなたの国では、お正月に人と会ったとき、どんなあいさつをしますか。
- 7 あなたの国では、お正月にはどんなものを食べますか。
- 8 子供のとき、お正月にはどんなことをして遊びましたか。
- 9 あなたの国にもお年玉がありますか。
- 10 お正月にする何か特別な行事とくべつぎょうじがあったら、話してください。

— 1月（睦月）の暦 —

1 初詣

年が明けてから初めて寺社にお参りして、一年の無事と平安を祈る行事です。寺社で、お守りや破魔矢、風車などを買ったり、絵馬に願いごとを書いたり、おみくじを引いたりして、今年一年がよい年であるようにお祈りをします。

< 破魔矢と絵馬 >



2 年賀状

お正月にお世話になった人や友だちに送るはがきで、干支のイラストが入った年賀はがきに、「謹賀新年」「年賀」「新春」「あけましておめでとうございます」などと大きく書き、メッセージを添えます。

3 初夢

お正月に見る夢を初夢といいます。その夢の内容で、1年を占う夢占いが古くから行われています。

4 鏡開き（1月11日）

1月11日は「鏡開きの日」です。鏡開きの日には、今年1年の一家円満を願いながら、神さまに供えた鏡餅をみんなで食べます。

5 成人の日（1月の第2月曜日）



< 振袖姿の女性 >

成人の日は、20歳になった青年が両親や周りの大人たちに保護されてきた子供時代を終えて自立し、大人の社会へ仲間入りする儀式（成人式）を行う日です。当日は、女性は振袖、男性はスーツや羽織り・袴などの正装に身を包んだ新成人の姿を見ることができます。

2月の行事とくらし

「鬼は外、福は内」(節分の豆まき)



<豆をまく神主>

もともと、節分というのは、立春・立夏・立秋・立冬の前の日のことを言いました。その中では、立春が1年の初めと考えられていましたから、春の節分が一番大切でした。今では「節分」といえば、立春を指すものとなっています。

立春は2月3日に来ることが多いのですが、2日や4日のこともあります。この日は旧暦で冬の最後、一年の終わりの日に当たりますから、新たな春を迎えるために、前年の邪気を払って、福を招く行事が行われます。その代表が「豆まき」です。



<神社での豆まきの風景>

「豆まき」は、節分の夜の夜、八時から十時くらいの中に、はじめは玄関、そして各部屋へと、戸を全部開けて、大きな声で「鬼は外、福は内」を二回繰り返しながらか、豆をまきます。鬼は一家のご主人や長男、または厄年の人が行っていました、現在は家族で楽しみながら行うお宅が多いようです。まき終わったら、鬼を入れないようにすぐに戸を閉めます。このあと、家族で年齢の数だけ豆を食べます。厄年の人は一つ多く食べて、早く厄年が終わるように願います。この豆まきの風習は室町時代に始まりましたが、もとは7世紀ごろに中国から伝わった鬼はらいの儀式「追儺」で、病や災害などを鬼に見立てて、桃の弓、葦の矢で追い払うものでした。この弓矢が豆に変わったのが「豆まき」だと言われています。



<家庭での豆まきの風景>

新しいことば

せつぶん 節分：	く かえ 繰り返す：
りっしゅん 立春：	豆をまく：
りっ か 立夏：	ちょうなん 長男：
りっしゅう 立秋：	やくどし 厄年：
りっとう 立冬：	たの 楽しむ：
きゅうれき 旧暦：	ふうしゅう 風習：
さいご 最後：	やまい 病：
～にあたる：	さいがい 災害：
はるむか 春を迎える：	おにみた 鬼に見立てる：
じゃきほら 邪気を払う：	ももゆみ 桃の弓：
ふくまね 福を招く：	あしや 葦の矢：
おこな 行う：	おほら 追い払う：
まめ 豆まき：	か 変わる：

使いましょう

1 ～というのは～ことです

◆節分というのは、立春・立夏・立秋・立冬の前の日のことです。

◇立春というのは、_____ ことです。

◇厄年というのは、人の一生のうちで、_____ 年のことです。

2 ～ながら

◆大きな声で「鬼は外、福は内」を二回繰り返しながら、豆をまきます。

◇_____ ながら、_____ ないでください。

◇_____ ながら、_____ しましょう。

3 ～ように／～ないように [目的]

◆鬼を入れないようにすぐに戸を閉めます。／早く厄年が終わるように願います。

◇もっと_____ ように、説明してください。

◇遅刻しないように、_____ 方がいいですよ。

日本の鬼と中国の鬼



日本の鬼と言いますと、頭に角が二本生えていて、髪はパーマをかけたようにチリチリ、下の歯が鋭くとがった牙となって上に突き出した怖い顔を思い浮かべます。

しかし、中国で「鬼」というのは、亡くなった人が、迷ってこの世に化けて出てくる幽霊のことなので、鬼のイメージが日本と全然違います。ですから、中国の人が日本語の「仕事の鬼」という言葉を聞いて思い浮かべるのは、過労死か何かで死んで、この世を恨んで夜な夜な現れる幽霊になってしまうのです。

新しいことば

角が生える：

パーマをかける：

チリチリ：

鋭い：

とがる：

牙：

突き出る：

思い浮かべる：

亡くなる：

迷う：

化ける：

幽霊：

イメージ；

仕事の鬼：

思い浮かべる：

過労死：

恨む：

夜な夜な：

現れる：



古代の追儺の儀式（「広辞苑」より）

【話しましょう】

- 1 立春というのは、どんな日のことですか。
- 2 日本で行われる豆まきというのは、どんな行事ですか。
- 3 豆をまくとき、どう言いますか。
- 4 豆まきで、家の中にまいた豆はどうしますか。
- 5 日本の豆まきは、どんな儀式ぎしきがもとになって生まれましたか。
- 6 あなたの国では、豆まきに似た行事にがありますか。あれば、紹介しょうかいしてください。
- 7 あなたの国に鬼はいますか。どんな姿形すがたかたちをしていますか。
- 8 あなたの国の鬼は、どのような存在ですか。
- 9 あなたの国に、鬼が出てくる昔話があれば、紹介してください。
- 10 あなたの国の「建国記念日」は、何を記念して作られましたか。その日に、どのような行事がありますか。

— 2月 (如月) の暦 —

1 建国記念日 (2月11日)

日本書記では日本国を統一して初代の天皇になったのは神武天皇とされています。もちろん神武天皇は科学的根拠のない神話上の人物なのですが、神武天皇が即位したとされる紀元前660年2月11日を、日本が建国された日として祝おうという動きが高まり、1966年に国民の祝日になりました。

2 バレンタインデー (2月14日)

2月14日は日本では「女性が男性にチョコレートをプレゼントする日」とされています。実はその起源は、メリーチョコレート社がこの日に東京の「伊勢丹」でチョコレートを販売したのがきっかけでした。

鬼が出てくる民話「桃太郎」

民話「桃太郎」は、桃から生まれた桃太郎がきびだんごをもって鬼退治に行きます。鬼が住む鬼ヶ島に向かう途中で、犬・猿・雉に会いますが、彼らにきびだんごをあげて仲間にし、協力して鬼を退治するというお話です。では、その書き出しを載せておきましょう。

「むかし、むかし、ある所におじいさんとおばあさんが住んでいました。おじいさんは山へしば刈りに、おばあさんは川へ洗濯に行きました。すると大きな桃が流れてきました。喜んだおばあさんはその桃を背中に担いで帰りました。桃を切ろうとすると、桃から大きな赤ん坊が出てきました。…」



3月の行事とくらし

女の子の「ひな祭り」



<おひなさま>

「ひな祭り」は、3月3日におひなさま（ひな人形）を飾って、女の子の幸福と美しく成長することを願う行事です。もとは、中国から伝わった上巳の節句でした。中国では、この日は忌日とされる日でしたから、古くは河原でみそぎをしたり、桃の花を浮かべた酒を飲んだり、桃の葉を入れたお風呂に入って、無病息災を願いました。そのため、「桃の節句」とも呼ばれます。

昔から中国には、桃の花は長寿のシンボルで、魔よけの力があるという言い伝えがあります。しかし、「桃の節句」は旧暦の3月3日なので、現在、日本で「ひな祭り」が行われる新暦の3月3日ごろに咲いているのは梅の花だけで、桃の花はまだ咲いていません。

やがて「桃の節句」には、人のけがれや災いなどを人形に移して川に流し、不浄を払う行事が行われるようになりました。この「流しひな」から「ひな祭り」が生まれたそうです。この「流しひな」の風習は、今もまだ日本各地に残っています。

おひなさまは、「ひな祭り」の1～2週間前に飾ります。飾る前日には桃酒やひし餅などをお供えます。そして家族や仲

のいい友だちを呼んで、ごちそうしてもてなします。昔から、おひなさまをいつまでも出しておくと、婚期が遅れると言われていたのですが、これは「片づけのできない娘は、いいお嫁さんになれないよ」という意味なのでしょう。



<流しひな>



新しいことば

ひな祭り： <small>まつ</small>	言い伝え： <small>い つた</small>
ひな人形： <small>にんぎょう</small>	けがれ：
幸福（な）： <small>こうふく</small>	災い： <small>わざわ</small>
成長する： <small>せいちょう</small>	移す： <small>うつ</small>
願う： <small>ねが</small>	不浄を払う： <small>ふじょう ばら</small>
上巳の節句： <small>じょうし せっき</small>	各地： <small>かくち</small>
忌日： <small>きじつ</small>	ひし餅： <small>もち</small>
河原： <small>かわら</small>	仲がいい： <small>なか</small>
みそぎ：	ごちそうする：
無病息災： <small>むびょうそくさい</small>	もてなす：
長寿： <small>ちやうじゆ</small>	婚期が遅れる： <small>こんき おく</small>
シンボル：	片づけ： <small>かた</small>
魔よけ： <small>ま</small>	お嫁さん： <small>よめ</small>

使いましょう

1 まだ

◆桃の花はまだ咲いていません。／「流しひな」の風習は、今もまだ残っています。

◇「もうお屋ご飯は食べましたか」「いいえ、まだ_____。」

◇「李さんは、まだお風呂に入っていますか」「はい、まだ_____。」

2 ～ようになります

◆人のけがれを人形に移して川に流し、不浄を払う行事が行われるようになりました。

◇あなたが親になれば、ご両親の気持ちも_____ようになるでしょう。

◇練習すれば、もっと上手に_____ようになります。

3 ～そうです [伝聞]

◆この「流しひな」から「ひな祭り」が生まれたそうです。

◇先生の話によると、_____そうです。

◇言い伝えによると、_____そうです。

しゅんぶん ひ 春分の日
ひ がん はか ーお彼岸と墓まいりー



3月21日ごろを「春分の日」と言い、
こくみん しゅくじつ 国民の祝日となっています。春分の日は
ひる よる おな なが 昼と夜が同じ長さになる日ですが、昔の
人はこの日を春の訪れを祝う日としてい
ました。また、この日の前後三日を「お
彼岸」と言って、ご先祖への感謝の気持
ちを伝えるために、お墓まいりをする日

どくじ ぶつきょうぎょうじ 本独自の仏教行事があります。彼岸とはまよ
さと せかい の世界を言う
のですが、彼岸は春分の日と秋分の日
の前後三日、一年に二回あり、春
は三月十八日ごろ、あき 秋は九月二十日ごろが彼岸の入りとなります。

新しいことば

しゅんぶん ひ 春分の日：

ひ がん 彼岸：

はか 墓まいり：

はる おとず 春の訪れ：

せん ぞ 先祖：

かんしゃ 感謝：

どくじ 独自：

ぶつきょうぎょうじ 仏教行事：

まよ 迷い：

さと 悟り：

せかい 世界；

ひ がん い 彼岸の入り：



ぶつだん はなし 仏壇のお話

日本人の家なら、ほとんどどこに
もあるのが仏壇です。あさ ばん せんこう 朝と晩、お線香
をたいたり、お水や食べ物みず た ものをそなえたり
して、ご先祖せん ぞをく しょう供養します。

【話しましょう】

- 1 ひな祭りというのは、どのような行事ですか。
- 2 「上巳の節句」は、中国ではどんな日だと考えられていましたか。
- 3 「上巳の節句」は、どうして「桃の節句」と言われたのですか。
- 4 「流しひな」というのは、どのような意味を持った行事ですか。
- 5 どうして、おひなさまをいつまでも出しておいてはいけないのですか。
- 6 彼岸というのは、本来^{ほんらい}どういう意味の語ですか。
- 7 あなたの国では、家でご先祖をどのようにしてお祀り^{まつ}していますか。
- 8 あなたの国では、日本の「お彼岸」のような墓まいの行事がありますか。
- 9 その墓参りの行事はいつ行われ、なんと呼ば^よれていますか。
- 10 その墓まいの行事の日には、なにか特別^{とくべつ}な食べ物や飲み物^{の もの}、催し^{もよお}などがありますか。あれば、紹介^{しょうかい}してください。

— 3月（弥生）の暦 —

1 ひな祭り（3月3日）

2 国際婦人デー（3月8日）

1904年の3月8日、ニューヨークの女性労働者たちが女性参政権の運動を起こしたのを記念して、国際婦人デーが定められました。日本では、敗戦後に選挙法改革が行われ、女性の選挙権が認められました。1946年4月、女性が参加した初の衆議院選挙では、39名の女性議員が生まれています。

3 卒業式のシーズン

日本では、卒業式は3月に行われるところが多く、春の季語になっているほどです。高等学校では上旬、大学・短大では下旬が多いでしょう。

4 春分の日（3月21日ごろ）

知っていますか、桃の起源

『西遊記』の中で、孫悟空が天界・桃源郷の不老不死の桃を食べるお話がありますね。そのころの桃は「毛毛（もも）」と言われ、毛がいっぱい生えた硬い果物だったことをご存じでしたか。

中国で生まれた桃は、中国からシルクロードで西域へ伝わりますが、中国から西へ行った桃は果肉が黄色くなりました。黄桃です。古代には日本にも桃が伝わるのですが、現在のような桃がつくれるようにな



ったのは明治時代のことです。中国から伝わった品種から自然交雑で偶然生まれた白い桃を発見し、その後、品種改良が重ねられてきました。ですから、「白桃」は日本独特の桃なのです。

4月の行事とくらし

花より団子



桜が咲く季節になると、家族や仲間、会社の同僚が桜の木の下に集まって、お弁当を広げて、お酒を飲んだり、歌を歌ったり……こんな光景が日本の至る所で繰り広げられます。これが日本の伝統行事「お花見」なのです。たぶんこんな風習は、日本でしか見られないのではないのでしょうか。

花見が盛んに行われるようになったのは、江戸時代の元禄のころからだと言われています。花見には金持ちも貧乏人もありません。それぞれが集団を作

り弁当を持って出かけ、飲んで食って大騒ぎをします。それは、普段は士の農工商という厳しい身分制度の中で生活している庶民にとって、羽を伸ばしてリフレッシュする絶好の機会であったようです。それは今も変わりません。花見のときは上司も部下も無礼講で飲んで騒ぐのですが、ときには裸になって踊り出す人が現れたり、酒の勢いでけんかが始まったりと大変な騒動になること



<飲んで騒いで>

もあります。「花見」で見えるものはもちろん桜です。夜に花見をすることは夜桜見物と言います。しかし、庶民にとっては、桜よりも飲み食い騒ぐことの方



<花見団子>

が楽しみなのです。これを「花より団子」と言います。

もしあなたが、日本人が花見を楽しんでいる光景を見たら、あなたの日本人観が変わるかもしれません。

新しいことば

なかま 仲間：	みぶんせいど 身分制度：
どうりょう 同僚：	しよみん 庶民：
こうけい 光景：	～にとって：
いたところ 至る所：	はねの 羽を伸ばす：
くひろ 繰り広げる：	リフレッシュする：
でんとう 伝統：	ぜっこう きかい 絶好の機会：
～のではないですか：	ぶれいこう 無礼講：
さか 盛ん（な）：	はだか 裸：
かねも 金持ち：	さけ いまわ 酒の勢い：
びんぼうにん 貧乏人：	けんか：
それぞれ：	そうどう 騒動：
ふだん 普段：	よざくらけんぶつ 夜桜見物：
しろうこうしょう 士農工商：	はな だんご 花より団子：

使いましょう

1 ～のではないですか

◆たぶんこんな風習は、日本でしか見られないのではないですか。

◇会社の業績も伸びていますから、給料も_____のではないですか。

◇空が暗くなってきたから、もしかして_____んじゃないか。

2 ～にとって

◆それは庶民にとって、羽を伸ばしてリフレッシュする絶好の機会であったようだ。

◇私たちにとって、一番大切なのは_____。

◇それは_____にとって、初めての経験だった。

3 ～ようです（感覚推量）

◆庶民が羽をのばして、リフレッシュする絶好の機会であったようです。

◇寒気がします。どうも_____ようです。

◇この靴、少しサイズが_____ようなので、_____のに換えてください。

うめ さくら はなし
梅と桜のお話

日本に梅がもたらされたのは、奈良時代、遣唐使が薬用として持ち帰ったのが最初のようにす。この時代、花といえば梅を指しました。当時、梅は中国の文人たちに大変愛されていた花



でしたから、中国文化を理想としていた当時の日本人にとって、梅こそ花の代名詞でした。しかし平安時代に入り、「かな」が作られ、遣唐使が廃止されると、しだいに国風文化と言われる独自の文化が形成されていきます。それにつれて、梅よりも昔から日本の山野に原生していた桜が尊ばれるようになり、やがて梅は桜と交代しました。このように桜が国花とされるようになったのは、国風文化の発展と密接な関係があったの

新しいことば

もたらす：

遣唐使：

薬用：

～として：

代名詞：

廃止する：

しだいに：

国風文化：

独自：

形成する：

～ていく：

～につれて：

原生する：

尊ぶ：

国花：

やがて：

交代する：

密接（な）：

「ひらがな」のもとになった漢字

あ	安	い	以	う	宇	え	衣	お	於
か	加	き	幾	く	久	け	計	こ	己
さ	左	し	之	す	寸	せ	世	そ	曽
た	太	ち	知	つ*	川	て	天	と	止
な	奈	に	仁	ぬ	奴	ね	祢	の	乃
は	波	ひ	比	ふ	不	へ	部	ほ	保
ま	末	み	美	む	武	め	女	も	毛
や	也			ゆ	由			よ	与
ら	良	り	利	る	留	れ	礼	ろ	呂
わ	和	ゐ	為			ゑ	惠	を	遠
ん	无								

*「つ」は「津・州」などの説もある。

【話しましょう】

- 1 日本人は、花見に行ってどんなことをしますか。
- 2 日本で花見が盛んさかになったのは、いつごろからですか。
- 3 花見というのは、庶民しよみんにとってどのようなものなのですか。
- 4 「花より団子」というのは、どういう意味いみですか。
- 5 遣唐使が廃止されてから、日本で発展した独自の文化をなんと呼びますか。
- 6 日本では、どうして梅よりも桜の方が尊ばれるようになりましたか。
- 7 あなたの国では、日本のお花見ふうしゅうの風習がありますか。
- 8 あなたの国の国花はなんですか。どうしてその花が国花となったのですか。
- 9 あなたの生まれた故郷ふるさとで、春を代表するのはどんな花ですか。
- 10 あなたの国には、花と関係が深いお祭りまつがありますか。あれば、紹介しょうかいしてください。

— 4月（卯月）の暦 —

1 エイプリルフール（4月1日）

4月1日は、エイプリルフールの日とされ、この日に嘘をついて、人を驚かせても許されることになっています。

2 花まつり（4月8日）

4月8日は、お釈迦さま生誕の日です。今から2500年前、ヒマラヤのふもと、カピラ国の太子として、ルンビニーの花園でお生まれになりました。

お釈迦さまがご誕生のとき、あたりに花が一斉に咲き、音楽が流れ、甘い雨が降ってきたと言われます。そこで、今でもお寺では花御堂を花で飾り、天地を指さした誕生のお姿を安置して、甘茶をかけてお祝いする「花まつり」が行われます。



3 入学式のシーズン



欧米では一般に9月に入学式がありますが、日本では入学式は桜が咲く春の恒例行事です。学習指導要領で「国旗を掲揚するとともに、国歌を斉唱するよう指導する」と定めたため、教育現場では様々な問題が発生しています。

4 みどりの日（4月29日）

元は昭和天皇の「天皇誕生日」でしたが、現在は国民の祝日「みどりの日」に改名され、「自然に親しむとともにその恩恵に感謝し、豊かな心を育む日」となりました。

5月の行事とくらし

「こどもの日」とゴールデンウィーク



<菖蒲で縛った紙兜>

ゴールデンウィークとは、4月末から5月初めにかけて、多くの祝日が重なった大型連休のことを言います。ゴールデン・ウィークには国民の祝日である「みどりの日(4/29)」「憲法記念日(5/3)」「国民の休日(5/4)」「こどもの日(5/5)」が含まれます。これらの祝日と土日があまると、1週間ほどの大型連休が発生します。

このゴールデンウィークの過ごし方は人によって色々ですが、子どもがいる家庭では家族旅行に行くことが多いようです。この期間、日本の行楽地は子ども連れの家族で溢れます。調査では、2006年の海外旅行者は過去最高の56万人、国内旅行組が2000万人以上でしたから、ちょっとした民族大移動です。

さて、ゴールデンウィークの最終日にあたる5月5日は「こどもの日」です。古くは、「端午の節句」といって、男の子が強たくたくましく育つことを祝う日

でしたが、1948年に定められた国民の祝日法によって、男女の別なく、こどもの健全な発達を願う祝日となりました。しかし、もともと「端午の節句」の日だったので、菖蒲湯に入ったり、柏餅を食べたり、男の子のいる家では「兜」や「こいのぼり」「五月人形」を飾ったりします。



<こいのぼり>

この「こいのぼり」は、中国の昔話、急流だった黄河の竜門を昇りきったのが鯉だけだったという「鯉の滝登り」の話が元になっているようです。ここから、「登竜門」という言葉も生まれました。



<柏餅>

新しいことば

ゴールデンウィーク：	ちょっとした：
～から～にかけて：	民族大移動： <small>みんぞくだい い どう</small>
かさ 重なる：	端午の節句： <small>たんご せつく</small>
おおがたれんきゆう 大型連休：	たくましい：
けんぽう き ねんび [★] 憲法記念日：	～の別なく： <small>べつ</small>
ふく 含む：	健全な発達： <small>けんぜん ほったつ</small>
うまい：	菖蒲湯： <small>しょうぶ ゆ</small>
つながる：	柏餅： <small>かしわもち[★]</small>
～によって：	兜： <small>かぶと</small>
す かた 過ごし方：	急流： <small>きゅうりゅう</small>
こうらく ち 行楽地：	～きる：
こ づ 子ども連れ：	鯉の滝登り： <small>こい たきのぼ</small>
あふ 溢れる：	～が元になる： <small>もと</small>
か こそいこう 過去最高：	登竜門： <small>とうりゅうもん</small>

使いましょう

1 ～から～にかけて

◆ゴールデンウィークとは、4月末から5月初めにかけての大型連休のことを言う。

◇ 昨夜は、_____から_____にかけて、何度が強い地震がありました。

◇ 日本では_____から_____にかけて、梅雨のシーズンです。

2 ～によって [対応]

◆ゴールデンウィークの過ごし方は人によっていろいろです。

◇ 時間によって、忙しいときもあるし、_____もある。

◇ _____によって_____も違うから、「郷に入れば郷に従え」だよ。

3 ～によって [基準・根拠]

◆祝日法によって、男女の別なく、こどもの健全な発達を願う祝日となった。

◇ 学生の_____によって、クラスを三つに分けることにしました。

◇ 未成年者の飲酒は、_____によって禁止されている。

「母の日」とカーネーションのお話



1907年、米国のアンナ・ジャービスが亡き母の追悼会で、母親の好きだったカーネーションを参列者たちに配りました。これが米国全土へ広がり、1914年には米議会で5月の第2日曜を「母の日」と決めました。

日本では、教会の働きかけなどもあり、1949年ごろから「母の日」が年中行事として、一般に定着しました。現在でも、子どもが母親にカーネーションを贈ったり、日ごろの感謝を示す日として受け継がれています。

カーネーションの花言葉は、母の愛情、清らかな愛などで、母性愛を表します。赤いカーネーションは「健在する母の愛情」、白いカーネーションは「亡き母から受けた愛情」を表しています。

新しいことば

追悼会：

カーネーション：

参列者：

配る：

教会：

働きかけ：

一般に：

定着する：

感謝を示す：

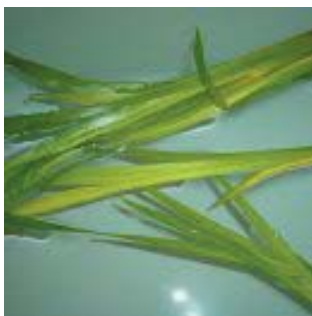
受け継ぐ：

花言葉：

清らか（な）：

母性愛：

健在する：



菖蒲湯

端午の節句は厄除けの行事が行われる日で、中国では災厄を払う薬草として菖蒲を使っていたので、「菖蒲の節句」とも呼ばれます。現在の日本ではお風呂に入れて菖蒲湯にする風習が最も身近なようです。

【話しましょう】

- 1 ゴールデンウィークというのは、なんですか。
- 2 五月五日は「こどもの日」ですが、何年に定められましたか。
- 3 五月五日は、昔、なんと呼ばれていましたか。それはどんな日でしたか。
- 4 「こどもの日」には、どんなものを飾り、どんなものを食べますか。
- 5 「こいのぼり」は、どんな話が元になって生まれましたか。
- 6 あなたの国には、日本の「こどもの日」のような行事がありますか。
- 7 あなたの国では、その日（「こどもの日」）は、なんと呼ばれていますか。
- 8 あなたの国では、その日（「こどもの日」）に、特別な物を飾ったり、食べたりしますか。
- 9 あなたの国には「母の日」がありますか。あれば、その日にどんなことをするか、紹介してください。
- 10 母の日に、亡くなったお母さんのお墓に供えるのはどんな花ですか。それはどうしてですか。

— 5月（皐月）の暦 —

1 メーデー（5月1日）

こくさいろうどうしやさい ろうどうくみあい ちゅうしん しゅうかい
国際労働者祭。労働組合を中心に集会や
こうしん おこな
デモ行進が行われます。



2 憲法記念日（5月3日）

1947年5月3日、日本国憲法が公布さ
れました。それを記念してこの日が国民の祝日と定められました。以来、
50年にわたってこの憲法は全く改正を加えられることなく継続し、天皇
象徴制・三権分立・民主主義・人権尊重・平和主義などをうたっています。

憲法に関してよく議論されるのが、第九条の問題です。

第九条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求
し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行
使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄
する。

(2) 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを
保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

この第九条を改正するかどうか、日本の国政上、最大の焦点になっ
ていて、憲法記念日には、護憲派と改憲派がそれぞれ集会を開き、激し
くぶつかっています。

3 こどもの日（5月5日）

4 国民の休日（5月4日）

「国民の休日」は、働きすぎの現代人に休日を増やそうということで定め
られました。

5 母の日（5月第2日曜日）

6月の行事とくらし

露天風呂の日と混浴の伝統



6月26日は露天風呂の日です。大きな温泉地に行けば、ほとんど露天風呂がありますが、広い屋外で風呂に入るのも開放的で、気分が爽やかです。混浴のところも各地に残っています。混浴の露天風呂では女性客の方

が元気がよく、男性客は恥ずかしそうに下を向いているケースが多いようです。

日本には「入込み湯」と言って、古くから混浴の風習がありました。奈良時代の「風土記」にも、こんこんと湧き出る温泉に、老若男女の区別なく、みんなが喜んで入ったと書いてあります。



<河原の露天風呂>

江戸時代の中期にはたびたび混浴禁止令が出され、やがて男女別の銭湯が生まれるのですが、地

方の温泉地では男女がいっしょに温泉につかり、お互いの背中を流し合うのは当たり前のことでした。今でも混浴の露天風呂はたくさんありますが、入口は男女別でも、中に入ると混浴浴場というところも多いですから、混浴が嫌な人は、事前によく調べておきましょう。

さて、外国の皆さんにもう一つ気をつけてもらいたいことがあります。日本でお風呂というと湯風呂で、ゆっくり湯につかるのが習慣です。よく外国の人がホームステイすると、お風呂が終わった後、湯を抜いてしまうそうです。しかし日本では、お風呂に入る前に体を洗います。

湯風呂にはつかるだけで、浴槽の中で体を洗いませんから、お湯は汚れないのです。これは日本での入浴のマナーなので、覚えておいてください。「郷に入れば郷に従え」ですよ。



<家庭の湯風呂>

新しいことば

露天風呂： <small>る てん ぶ ろ</small>	銭湯： <small>せんとう</small>
温泉地： <small>おんせん ち</small>	つかる：
屋外： <small>おくがい</small>	お互いに： <small>たが</small>
開放的（な）： <small>かいほうてき</small>	背中： <small>せなか</small>
気分が変わる： <small>ぶん か</small>	当たり前： <small>あ まえ</small>
混浴： <small>こんよく</small>	事前に： <small>じぜん</small>
ケース：	気をつける： <small>き</small>
こんこんと：	湯風呂： <small>ゆ ぶ ろ</small>
湧き出る： <small>わ で</small>	ホームステイ：
老若男女： <small>ろうにやくなんによ</small>	抜く： <small>ぬ</small>
～である：	浴槽： <small>よくそう</small>
たびたび：	入浴のマナー： <small>にゅうよく</small>
禁止令： <small>きんしれい</small>	郷に入れば郷に従え： <small>こう い しょう したが</small>

使いましょう

1 ～そうだ [様態]

◆男性客は恥ずかしそうに下を向いているケースが多いようです。

◇ _____ そうなケーキ、買っていこうよ。

◇ _____ そうに見えるけれど、実際にやるのは難しいよ。

2 ～である

◆……温泉に、老若男女の区別なく、みんなが喜んで入ったと書いてあります。

◇玄関のドアに「猛犬に注意」という札が _____ てあった。

◇「もう夕ご飯の準備は終わりましたか」「はい、もう _____ あります。」

3 ～ておく [準備]

◆混浴が嫌な人は、事前によく調べておきましょう。

◇ _____ ておいたお菓子を、弟に食べられてしまった。

◇ _____ を冷蔵庫に入れて、 _____ ておきましょう。

ころも が にゅうばい
衣替えと入梅

ころも が きせつ おう いふく き が
衣替えは季節に応じて衣服を着替えること
をいいます。季節の^{へんか}変化がはっきりしている
日本特有の習慣です。現在では、気候に合^あわ
せて何を着ても自由という風潮になっていま
すが、和服では今もこの習慣が厳格に守られていて、6月1日からは
「単」(夏物)、10月1日からは「袷」(冬物)と決められています。
つゆ 季節 に入ることを入梅といいますが、これ以後約一ヶ月間ほど
あめ つづ 雨が続き、うとうしい期間になります。「梅雨」という言葉は、ちょう
ど梅の実が熟すころに雨が降ることからつけられたといわれています。



新しいことば

ころも が
衣替え：

～に^{おう}応じて：

いふく：
衣服：

き が
着替える：

とくゆう
特有：

きこう
気候：

～に^あ合わせる：

ふうちよう
風潮：

わふく：
和服：

げんかく
厳格 (な)：

つゆ
梅雨：

にゅうばい
入梅：

うとうしい：

み じゆく
実が熟す；

～ことから：



ころも が
衣替え

えどじだい ぶけしやかい ねん かい
江戸時代の武家社会では年4回も衣替えを
していたそうです。衣替えが6月1日と
10月1日になったのは明治以降で、学校
や官公庁、銀行など制服を着用するところ
では、現在もほとんどこの日に行われてい

【話しましょう】

- 1 露天風呂というのは、どのような風呂のことですか。
- 2 露天風呂はどのような点がいいのですか。
- 3 混浴というのは、どういう意味ですか。
- 4 混浴の風習は、昔はなんと呼ばれていましたか。
- 5 江戸時代になって、混浴の風習はなくなりましたか。
- 6 日本の湯風呂に入るとき、気をつけなければならないことはなんですか。
- 7 あなたの国には混浴の風習がありますか。
- 8 あなたは日本に残る混浴の習慣をどう思いますか。
- 9 あなたの国には、衣替えの風習がありますか。あれば、話してください。
- 10 あなたの国には梅雨がありますか。あれば、いつごろからいつごろまでですか、話してください。

— 6月（水無月）の暦 —

1 環境の日（6月5日）

6月5日は「環境の日」です。1972年6月5日、第一回の地球サミット「国連人間環境会議」が開かれたのを記念して「世界環境デー」が制定されました。日本でも翌年からこの日を「環境の日」と定め、各地の環境保護団体が、クリーンアップ作戦などの運動をこの日を中心に展開しています。



2 海外移住の日（6月18日）



1908年（明治41年）6月18日、日本から初の集団移住者781名を乗せた笠戸丸がブラジルのサントス港に到着しました。この後、中南米や北米への移民が相次ぎますが、入植した人たちは厳しく辛い生活を送りながら、これらの国々で日系人社会を築きました。ペルーのフジモリ前大統領のことは有名です。

3 父の日（6月第3日曜日）

日ごろ一生懸命働いている父親に感謝する日として、6月の第3日曜日が、「父の日」として制定されました。米国の家庭では白いバラを贈りますが、日本では「愛する人の無事を願う」という気持ちを込めて、父の日には「黄色いリボン」を贈ることもあります。

4 露天風呂の日（6月26日）

7月の行事とくらし

あま かわでんせつ たなばた 天の川伝説と「七夕まつり」



たなばた けんぎゅう おりひめ ねん
七夕といえば、牽牛と織女が、年
いちど あま かわ わた あ
に一度だけ天の川を渡って会うこと
ができるという、悲しくロマンあふ
れる恋の物語を思い出しますね。

でんせつ ちゅうごく つた
この伝説が中国から日本に伝わ
たのは、奈良時代だそうです。この

けんぎゅうせい おりひめせい こらい
牽牛星と織女星の伝説と、日本古来の棚機津女（たなばたなつめ）の信仰が混
ざりあ ぼし ぎげい じょうたつ こめ ほうさく いの きゅうちゅうぎょうじ う
ざり合っ、星に技芸の上達やお米の豊作を祈る宮中行事が生まれました。そ
れで7月7日が「たなばた」と呼ばれているのです。



えど 時代になると、七夕の行事は民間にも広がりました。笹竹に願いごとを
か たんざく かざ
書いた短冊を飾るスタイルもこのころ定着したよう
です。この短冊を飾るのは6日の夜で、7日には七夕飾
り うみ かわ なが
りを海や川へ流します。しかし、現在は環境汚染問題
から川や海に流せなくなったため、神社で燃やして
もらうのが一般的なようです。全国各地で七夕まつり

がおこな
が行われていますが、なか せんたい ひらつか
中でも仙台と平塚の七夕
まつりが有名です。街は和紙と竹でつくられた
こうか
豪華な七夕飾りで埋め尽くされます。

さて、もともと日本では旧暦の七夕でお祝い
をしていたのですが、明治に太陽暦へ移行して
からは、しだいに新暦で行われるようになりま

した。ところが新暦の7月7日は梅雨の真っ最中なので。もしその晩に雨が
ふ
降って川を渡ることができないと、牽牛と織女はその年はもう会えません。で
すから、七夕の晩は雨が降らないようにお祈りしましょうね。



<七夕まつり>

新しいことば

たなばた 七夕：	さきだけ 笹竹：
～といえは：	たんざく 短冊：
けんぎゅう 牽牛：	スタイル：
おりひめ 織姫：	ていちゃく 定着する：
あま かわ 天の川：	かんきょう お せん 環境汚染：
口マンあふれる：	なか 中でも：
こい ものがたり 恋の物語：	わ し 和紙：
おも だ 思い出す：	ごう か 豪華 (な)：
でんせつ 伝説：	う め じく す 埋め尽くす：
しんこう 信仰：	い こう 移行する：
ま あ 混ざり合う：	ところ が ところが：
ぎ げい 技芸：	つ ゆ 梅雨：
じょうたつ 上達：	ま さ なか 真っ最中：
ほうさく 豊作：	

使いましょう

1 ～といえは

◆七夕といえは、牽牛と織女が年に一度だけ……という物語を思い出します。

◇ _____ といえは、もう何年なんねんも会っていないなあ。

◇ 子どものころといえは、_____ を思い出します。

2 ～てもらう

◆七夕飾りを海や川へ流して、神さまに持ち去ってもらいます。

◇私は孫そんさんに _____ まで、車くるまで _____ もらいました。

◇高たかいですね。もう少し _____ てもらえませんか。

3 ～ため (に) [原因・理由]

◆川や海に流せなくなったため、神社で燃やしてもらうのが一般的なようです。

◇ご迷惑めいわくをおかけしています。ただ今、_____ ため、電車でんしゃが遅おくれています。

◇ _____ ために、試験しけんが受うけられませんでした。

お中元の起源

お中元という、7月のはじめから15日くらいまでに、日ごろお世話になっている親戚や上司に、品物を贈る日本の習慣ですが、もとは日付を表すことばで、その起源は中国にあります。お中元の「中元」は旧暦の7月15日で、道教の習俗「三元（上元・中元・下元）」の一つです。道教ではこの日を贖罪の日として、神に食物を供えてお祀りし、人々をもてなす習慣がありました。これが日本に伝わり、お盆と結びついたのが中元で、お盆に一族が先祖の霊に捧げる品を持ち寄ったのが始まりだと言われています。



新しいことば

お中元：

日ごろ：

親戚：

上司：

日付：

起源：

道教：

習俗：

贖罪：

お盆：

結びつく：

霊に捧げる：

持ち寄る：



<七夕のときの夜空>

【話しましょう】

- 1 七夕に関係が深い物語はなんですか。
- 2 どうして7月7日が「たなばた」と呼ばれるようになりましたか。
- 3 七夕の行事が広く民間に広まったのはいつですか。
- 4 竹笹に飾る短冊には何を書きますか。
- 5 どうして最近、七夕飾りが海や川に流せなくなりましたか。
- 6 日本では新暦で七夕のお祭りが行われますが、新暦の7月7日はどんな季節ですか。
- 7 お中元というのは何のことですか。
- 8 あなたの国に牽牛と織姫のお話があれば、どんな話が紹介してください。
- 9 あなたの国には、日本の七夕のようなお祭りがありますか。あれば、いつ行われる、どんなお祭りが話してください。
- 10 あなたの国にはお中元のような贈り物をする習慣がありますか。あれば、紹介してください。

— 7月（文月）の暦 —

1 たなばた（七夕）

2 どよう うなぎ 土用の鰻



土用とは、立春・立夏・立秋・立冬の前18日間を言いますが、今では立秋の前だけを土用と呼んでいます。ちょうど大暑の少し前から終わりまでの「暑中」にあたります。土用の入りは、だいたい7月の20日ごろになります。日本には土用の丑の日は「う」のつくものを食べる習慣があります。うどん・梅干・うり・鰻などさまざまですが、夏の疲労をとり、夏痩せを防ぐというのが目的のようです。特に「土用の鰻」と言って、鰻を食べるのが一種の夏の行事になっています。

3 うみ だい げつようび 海の日（7月第3月曜日）

7月の第3月曜日は、「海の日」です。もとは「海の記念日」と呼ばれていましたが、その後、1996年に「みんなで海のことを考え、海に親しみ、海を大切にしましょう」という趣旨に立って、国民の祝日「海の日」となりました。

日本は周りを海で囲まれた海洋国で、海との関わりはとても深いです。古来、文化は中国・朝鮮から海を渡ってもたらされましたし、今も日本と外国との間で行われる貿易の99.8



< 朝鮮と日本を結んだ古代船（復元） >

%が海上輸送に支えられています。また海は、魚や貝や昆布など、豊かな水産物を提供してくれています。ところが、普段日本人この海の恵みを忘れていているようです。そこで、この「海の日」が制定されました。

8月の行事とくらし

夏の風物詩、盆踊りと花火大会

お盆は旧暦の7月15日を中心に行われる先祖供養の儀式で、先祖の霊があの世からこの世に戻ってくるという日本古来の信仰と、仏教が結びついてできた行事です。明治以後に多くの行事が新暦（太陽暦）に移行しましたが、お盆の行事だけは、今でも8月の同じ期間に行う地方が多いようです。だいたい8月13日の「迎え盆」から16日の「送り盆」までの4日間をお盆としています。



<灯籠流し>

お盆の間に、人々はお墓まいりをして、お墓の掃除をします。自宅の仏壇もきれいに掃除して、花や季節の野菜を供えます。そして盆の終わりには、送り火をしてご先祖さまをあの世へ送り出す行事、灯籠流しがあります。京都の有名な「大文字焼き」（正式名：五山の送り火）は、これが大規模になったものです。日本人にとって、先祖供養のための、一年で一番大切な日と言えるでしょう。

さて、お盆の期間に寺の境内や町の広場などで盆踊りが行われます。村や町内会の恒例行事となっていますから、日本人なら誰でも心に残る夏祭りや盆踊りの思い出があることでしょう。今でこそ、盆踊りというと、人々が櫓を囲んで太鼓を打ち、ゆかたを着て踊って楽しむ遊びのイメージしかありませんが、もともとはお盆に戻った霊を慰めて、送り出すための儀式だったのです。このお盆、盆踊りと切り離せないのが、夏の風物詩、花火大会でしょうね。

<高知の阿波踊り>



新しいことば

お盆： <small>ほん</small>	さて：
～を中心に： <small>ちゅうしん</small>	境内： <small>けいだい</small>
あの世： <small>よ</small>	盆踊り： <small>ぼんおど</small>
この世： <small>よ</small>	恒例行事： <small>こうれいぎょうじ</small>
先祖供養： <small>せんぞくよう</small>	思い出： <small>おもいで</small>
儀式： <small>ぎしき</small>	～こそ：
信仰： <small>しんこう</small>	櫓を囲む： <small>やぐら かくこ</small>
だいたい：	太鼓を打つ： <small>たいこ うち</small>
～を～とする：	ゆかた：
仏壇： <small>ぶつだん</small>	イメージ：
送り火： <small>おくりび</small>	慰める： <small>なぐさ</small>
灯笼流し： <small>とうろうなが</small>	風物詩： <small>ふうぶつし</small>
大規模（な）： <small>だいきぼ</small>	花火大会： <small>はなびたいかい</small>

使いましょう

1 ～を～とする

◆8月13日の「迎え盆」から16日の「送り盆」までの4日間をお盆としています。

◇この会かいは_____を目的もくてきとしてつくられたボランティア団体だんたいです。

◇警察けいさつはその男おとこを_____として、全国ぜんこくに指名手配しめいてはいした。

2 ～ため（に／の）[目的]

◆先祖供養のための……／お盆に戻った霊を慰めて、送り出すための儀式

◇_____ために、みんなかんげいかい ひらで歓迎会を開いた。

◇人は食べるために_____のではなく、生きるために_____のです。

3 ～こそ

◆今でこそ、盆踊りというと、人々が櫓を囲んで太鼓を打ち、……

◇「主人しゅじんがいろいろお世話せわになっております。」「いいえ、_____こそ。」

◇今年ことしはだめだったが、_____こそこうかくは合格するぞ。

しよちゆう み ま
暑中見舞い

暑中というのは「大暑」にあたる
期間のことで、7月20日ごろから
8月8日ごろの立秋の前日までを指
します。ですから、暑中見舞いはこ
の間に相手に着くように出します。
その期間を過ぎた場合は、残暑見舞
いとして出します。

なお、年賀状のように、暑中見舞
い・残暑見舞いをいただいた場合も、
必ず礼状を出しましょうね。



新しいことば

しよちゆう み ま
暑中見舞い：

たいしよ
大暑：

さ
指す：

ざんしよ み ま
残暑見舞い：

～として：

かなら
必ず：

れいじよう
礼状：



ぜんこくこうこう や きゅうたいかい
全国高校野球大会

もう一つの夏の風物詩が、全国高校野球大会。

まいとし こう し えんぎゆうじよう ねっせん く ひろ
毎年、甲子園球場で熱戦が繰り広げられる。



【話しましょう】

- 1 お盆というのは、どのような行事ですか。
- 2 「あの世」「この世」というのはどういう意味ですか。
- 3 灯笼流しというのは、何のために行う行事ですか。
- 4 盆踊りは、もともとどのような意味を持っていましたか。
- 5 盆踊りは、今、どのようなものと考えられていますか。
- 6 お盆は、日本人にとってどんな日ですか。
- 7 あなたの国には盆踊りのようなみんなで踊る行事がありますか。あれば、
しょうかい紹介してください。
- 8 あなたの国には、年賀状や暑中見舞いのような書状しょじょうを送る習慣がありますか。あれば話してください。
- 9 日本にはどのような宗教しゅうきょうがありますか。
- 10 あなたの国で、夏の風物詩といえば、どんなものがありますか。

— 8月（葉月）の暦 —

1 原爆投下～敗戦（8月15日）へ

8月 6日 広島に原爆投下

8月 9日 長崎に原爆投下

8月 15日 ポツダム宣言受諾・日本無条件降伏（＝「終戦記念日」）

8月 30日 連合国最高司令官マッカーサー元帥、厚木飛行場に降り立つ。

忘れてはならない「原爆～終戦記念日」

アメリカ軍は1945年の8月6日広島に、
8月9日長崎に原爆を投下しました。広島では30万人、長崎では8万人の市民の命が一瞬にして奪われました。軍部はなお「本土決戦」を叫んでいましたが、天皇の決断で「ポツダム宣言」の受諾が決定されました。



<広島に投下された原爆>

1945年8月15日、NHKラジオは天皇の肉声によって全国民に日本が戦争に負けたことを伝えました。日本ではこの日を太平洋戦争終結の日として、終戦記念日としています。他方、この日は韓国や台湾の人々にとっては日本の植民地支配から解放された記念すべき日であり、韓国では「光復節」として国民の祝日となっています。

2 夏休みの終わり（8月31日）

小中学校では、夏休みを7/20～8/31としているところがほとんどですが、夏暑い地域では少し長いかわりに冬休みが短くなったり、逆に冬寒い地域では夏休みを短くされて冬休みが



長かったりします。しかし、ほとんどの小中学校では、この日に楽しい夏休みが終わります。

9月の行事とくらし

関東大震災と「防災の日」

9月1日は「防災の日」です。1923年のこの日に起きた関東大震災（死者・行方不明者14万人以上、江戸以来の木造建築はこのとき、火事で焼失しました）の教訓を忘れないという意味を込めて、1960年に制定されました。



もう一つの由来が「二百十日」という厄日です。立春から数えて210日目、太陽暦で9月1日ごろが、台風が一番よく来襲する厄日なのです。そこで、9月1日の防災の日には、日本全国で大地震や災害の発生を想定した防災訓練が行われています。

日本では昔から怖いものを順に並べて、「地震・雷・火事・親父」と言いました。最近では「親父」は怖くなくなりましたが、やはり地震は日本人が一番怖いものでしょう。1995年1月17日にも阪神淡路大震災が起これ、死者6,434名、行方不明者3名、家屋の倒壊など、10兆円規模の被害を出しています。

そのため、日本の家庭では、いざという時に備えて避難場所を確認しあい、



各人用の非常持ち出し袋が用意されています。その中身は一人で持ち出せる最低限のもの、例えば、ミネラルウォーター、インスタント食品、缶詰、医薬品などです。みなさん、「備えあれば、憂いなし」ですよ。

新しいことば

ぼうさい
防災：

ゆくえ ふめいしゃ
行方不明者：

いらい
～以来：

もくぞうけんちく
木造建築：

しょうしつ
消失する：

きょうくん
教訓：

こ
～を込めて：

ゆらい
由来：

やくび
厄日：

たいふう
台風：

らいしゅう
来襲する：

さいがい
災害：

こわ
怖い：

かみなり
雷：

か おく どうかい
家屋の倒壊：

きぼ
規模：

ひ がい だ
被害を出す：

いざという時^{とき}：

そな
備える：

ひ なん ぼ しょ
避難場所：

ひ じょう も だ ぶくろ
非常持ち出し袋：

ミネラルウォーター：

インスタント食品^{しょくひん}：

かんづめ
缶詰：

い やく ひん
医薬品：

そな うれ
備えあれば憂いなし：

使いましょう

1 ～以来／～て以来

◆江戸以来の木造建築は、このとき、火事で焼失しました。

◇父は病気で入院して以来、_____。

◇先月以来、_____。

2 ～を込めて

◆関東大震災の教訓を忘れないという意味を込めて、1960年に制定されました。

◇母はいつも_____を込めて、私たちのお弁当を作ってくれた。

◇無事に育ててほしいという願いを込めて、母は_____。

3 ～なくなる

◆最近では「親父」は怖くなくなりました。

◇昔はとてもおいしかったけど、最近、あまり _____ たね。

◇若いころはずいぶん飲んだが、年をとってあまりお酒が_____。

けいろう ひ
敬老の日 (9月15日)

9月15日は「敬老の日」です。長い間社会のために尽くしてきた高齢者を敬い、長寿を祝う日ですが、それとともに若い世代に高齢者福祉に関心を持ってもらおうという気持ちが込められています。

みなさん、高齢者というのは何歳からか知っていますか。一般に65歳以上を高齢者と呼び、高齢者の割合が7%～14%の社会を高齢化社会、14%～21%の社会を高齢社会、それ以上を超高齢社会と呼んでいます。日本は1994年に高齢社会となりましたが、2010年には超高齢社会となる見込みです。



新しいことば

けいろう ひ
敬老の日：

つくす：
尽くす：

こうれいしゃ
高齢者：

うやま
敬う：

ちやうじゆ
長寿：

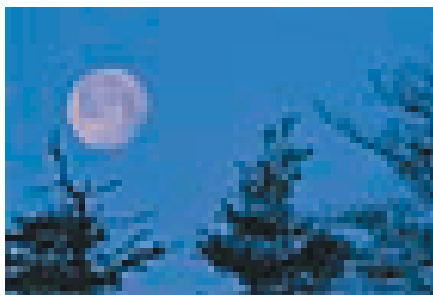
～とともに：

ふくし
福祉：

～に関心を持つ：

わりあい
割合：

みこ
見込み：



つきみ ちゅうしゅう めいげつ
👉 お月見 (中秋の名月)

お月見は旧暦の8月15日に月を鑑賞する行事で、「中秋の名月」、「十五夜」と呼ばれます。月見の日には、おだんごやススキ、サトイモなどをお供えします。

だんご
月見団子 👉



【話しましょう】

- 1 防災の日にはどのようなことが行われますか。
- 2 「二百十日」というのはどのような日ですか。
- 3 日本の家庭では、地震に備えて、どのような準備をしていますか。
- 4 非常持ち出し袋にはどんな物が入っていますか。
- 5 高齢社会というのは、どのような社会のことですか。
- 6 あなたの国ではどのような防災訓練が行われていますか。
- 7 あなたが怖いと思うものを、順番に四つあげてください。
- 8 あなたの国には日本の敬老の日に似た行事がありますか。あれば、どのようなお祝いの行事をするか、紹介してください。
- 9 あなたはおじいさん、おばあさんになったら、どんな生活がしたいですか。
- 10 あなたの国には、お月見の風習がありますか。あれば、どんなことをするか、紹介してください。

— 9月（長月）の暦 —

1 防災の日（9月1日）

2 菊 [重陽] の節句（9月9日）

3 中秋の名月（9月15日）

旧暦で8月15日の月を「十五夜」「中秋の名月」と言います。旧暦では1～3月が春、4～6月が夏、7～9月が秋、10～12月が冬です。そこで8月は秋の真ん中の月なので「中秋」と呼ばれています。

古来、満月が一番美しいものとされました。中でも中秋のこの時期は空気が澄んでいて、最も美しい満月が見られるということで、平安時代初期に、この日に月を見ながら宴会をする風習ができたのです。一般庶民の間に広まったのは江戸時代以降で、月の見えるところにすすきを飾り、月見団子、里芋、枝豆などを盛って、大人は月見酒を飲みます。

4 敬老の日（9月15日）

5 秋分の日（9月23日ごろ）

秋分の日は春分の日と同様に、昼と夜の長さが等しくなる日です。秋分の日を中心とした前後一週間を「秋彼岸」と言います。家々では、家族でお墓まいりに行ったり、祖先を供養する「法会」を行ったりします。

もともと日本では、春分と秋分のころに豊作を祝う神道行事がありましたが、仏教の浸透とともに秋分は「秋の彼岸」として祖先を供養する意味を持ち始めました。そして1948年には、広い意味で「祖先を敬い、亡くなった人を忍ぶ日」として国民の祝日に制定されました。

10月の行事とくらし



「体育の日」と秋の運動会

以前は10月10日、今は10月の第2月曜日が「体育の日」として祝日になっています。この「体育の日」は、1964年のこの日、東京オリンピックの開会式が行われ

たのを記念して制定されました。東京オリンピックは、日本にとって「戦後」の終わりを告げるものでした。このイベントを境にして、日本は貧しい国から豊かな国へと変身し、高度経済成長の時代のまっただ中に飛び込みます。

さて、この「体育の日」の行事といえば小中学校で行われる「秋の運動会」でしょう。では、この「運動会」はいつのころから始まったのでしょうか。日本でも刀術や弓術、馬術など特定の競技大会はあったのですが、「運動会」とい



う体育全般にわたる行事は行われていませんでした。どうも運動会という行事は、明治の文明開化のころに西洋から持ち込まれたらしいです。最初は軍事訓練に近いものだったらしいのですが、回を重ねるにつれて、地域ぐるみのお祭りになっていきました。運動会では、秋晴れの空の下、親子が一緒に手づくりの弁当を広げ、親たちは「がんばれ～」と声の限りに自分の娘や息子に声援を送ります。ですから、子どもたちにとって、運動会は昔も今も特別な行事なのです。

現代社会では運動不足やストレス、脂肪や糖分の多い食べ物を原因とする肥満が心配されるようになっていきますから、「体育の日」を契機にして、それぞれの体力や年齢に合ったスポーツを始めるのもいいかもしれませんね。



新しいことば

たいいく 体育：	ぐんじくんれん 軍事訓練：
オリンピック：	かい かさ 回を重ねる：
つ 告げる：	～につれて：
イベント：	ちいき 地域ぐるみ：
へんしん 変身する：	あきば 秋晴れ：
こうどけいざいせいちよう 高度経済成長：	もと ～の下で：
まっただ中： なか	かぎ ～の限りに：
とこ 飛び込む：	せいえん おく 声援を送る：
とうじゆつ きゅうじゆつ ばじゆつ 刀術・弓術・馬術：	ストレス：
とくてい 特定：	しぼう 脂肪：
きようぎたいかい 競技大会：	とうぶん 糖分：
～にわたる：	けいき ～を契機にして：
ぶんめいかいか 文明開化：	それぞれ：
もちこ 持ち込む：	スポーツ：

使いましょう

1 ～らしい

◆運動会という行事は、文明開化の時に西洋から持ち込まれたらしいです。

◇どうやらその話は_____らしい。

◇今朝の天気予報によると、今日は午後から_____らしい。

2 ～につれて

◆回を重ねるにつれて、地域ぐるみのお祭りになっていきました。

◇年をとるにつれて、_____。

◇時が経つにつれて、_____。

3 ～かもしれません

◆それぞれの体力や年齢に合ったスポーツを始めるのもいいかもしれませんね。

◇もしかしたら、_____かもしれません。

◇_____かもしれないが、よく覚えていないんだ。

あき しゅうかく いわ かななめさい
秋の収穫を祝う「神嘗祭」とハロウィン

10月15日から25日にかけて、伊勢神宮では神嘗祭が行われます。これは、その年にとれた新しい米を最初に神さまに捧げて、秋の実りに感謝する行事です。戦前は祝日になっていました。

同じようなお祭りに「ハロウィン」があります。このお祭りは、古代ケルト人の秋の収穫感謝祭に起源があると言われています。アメリカでは子どもたちはかぼちゃの中身をくりぬいたちょうちんを作り、夜になると怪物の格好をして近所の家を訪ね歩き、「Trick or treat?」（いたづらされたい?嫌なら接待して）と言ってお菓子をもらいます。



新しいことば

かななめさい
神嘗祭:

ささ
捧げる:

あき みの
秋の実り:

ハロウィン:

こ だい じん
古代ケルト人:

かぼちゃ:

くりぬく:

ちょうちん:

かいぶつ
怪物:

たづ ある
訪ね歩く:

かっこう
格好をする:

いたづらする:



かななめさい
神嘗祭

伊勢神宮で行われる収穫祭。



【話しましょう】

- 1 体育の日には各地でどのようなことが行われますか。
- 2 東京オリンピックは日本にとってどのような年でしたか。
- 3 日本では、いつごろから運動会という行事が始まりましたか。それが始まったころの運動会はどのようなものでしたか。
- 4 今の日本の運動会はどのような様子ですか。
- 5 日本の神嘗祭とハロウィンは、どこが共通^{きょうつう}していますか。
- 6 あなたの国では、小中学校の運動会はいつごろ開かれますか。
- 7 あなたの国の運動会では、どのような競技が行われますか。あなたの国の運動会の様子はどうですか。
- 8 あなたが一番好きなスポーツは何ですか。それはどうしてですか。
- 9 あなたの国には、秋の収穫を祝う行事やお祭りがありますか。
- 10 あなたが秋と聞いて、思い浮^{おも}か^うべることはなんですか。

— 10月（^{かん な づき}神無月）の暦—

1 ^{ころも が}衣替え（10月1日）

衣替えの習慣は、^{しゅうかん}宮中行事として始まり、^{はじ}はじまりました。その頃は、^{とうじ}旧暦の4月1日と10月1日に行われていました。衣替えが6月1日と10月1日に変わったのは、^{いごう}明治以降で、^{がっこう}学校や^{かんこうちょう}官公庁、^{ぎんこう}銀行など、^{せいふく}制服を着用するところでは、^{げんざい}現在もこの日に衣替えが行われています。

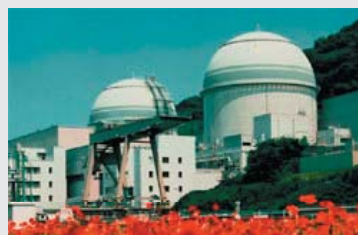
2 ^{たいいく ひ}体育の日（10月第2月曜日）

3 ^{かんなめさい}神嘗祭（10月15日～25日）

4 ^{げんしりょく ひ}原子力の日（10月26日）

1963年10月26日、^{とうかいむら}東海村日本原子力研究所の^{けんきゅうじょ}動力試験炉が日本初の^{はつ はつでん}発電に成功したことを^{きねん}記念して、原子力が^{さだ}定められました。ほんとうは原子力発電などせずに済めばいいのですが、まだ^{たいようこうはつでん}太陽光発電などの^{じせだい}次世代の発電が^{じつよう}実用の域に達していません。

関西電力<高浜原子力発電所>



それまでは原子力発電に^{たよ}頼るしかないのも^{じじつ}事実です。「原子力発電所が^{あんぜん}安全だというのなら、^{こうきよ}皇居の隣に^{となり}作ったらどうだ」という^{ぎろん}議論がありますが、ほんとうに皇居の^{なか}中に作ってもいいくらいの^{あんぜんたいさく}安全対策を取るべきでしょう。同時に、^{どうじ}同時に、^{すこ}少しでも早く^{はや}次世代のエネルギー^{かいはつ}開発の研究を進め^{ひつよう}る必要があるでしょう。

5 ハロウィン [Halloween]（10月31日）

【書きましょう】

あなたの国で人気にんきのあるスポーツについて書いてください。

															点			

11月の行事とくらし

七五三と童謡「とおりゃんせ」



七五三のお祝いは、三歳と五歳の男児と三歳と七歳の女児の成長を祝う儀式です。家族そろって、11月15日に地元の氏神さまや神社にお参りします。

七五三の祝いに神社に行ってお札を納める様子をうたった歌に「とおりゃんせ」という童謡があります。

この歌は「とおりゃんせ、とおりゃんせ、ここはどこの細道じゃ、天神さまの細道じゃ……」という歌詞に始まるのですが、「行きはよいよい、帰りは怖い」という恐ろしい歌詞で終わります。どうして帰りが怖いのか、諸説あるのですが、当時、「七つ前は神の子」という言葉があったように、医療が発達していませんし、疫病や栄養不足による乳幼児の死亡率が高かった昔は、七つを迎えるまでは、その子が無事に大人になるかどうか分からないというのが現実でした。ですから、七歳まではいつ神に召されるかもしれない「神の子」と考えていたのでした。天神さまに七つのお祝いのお札を納めたけれど、神がいつ子どもを連れ去っていくかもしれない。この歌詞にはそんな親の不安や子の無事を祈る切ない思いが表れているのです。

この七つの祝いの後は、地元の氏神さまの氏子となって、地域の共同体の一員として迎えられました。現在、義務教育が七歳から始まるのもその名残なのです。七五三というのは、子どもを社会の一員として受け入れる行事でもあったのです。

現在では、こんなしきたりに関係なく、着物や袴を着せ、千歳飴を買ってお祝いします。この千歳飴を引っ張ると伸びるのですが、寿命が伸びるという縁起ものから、お赤飯とともに、千歳飴を親戚や親しい人へ、内祝いとして配ることもあります。



<千歳飴>

新しいことば

だん じ 男児：	つ ぎ 連れ去る：
じょ じ 女児：	せつ おも 切ない思い：
うじがみ 氏神：	うじ こ 氏子：
ふだ おさ お札を納める：	～として：
しよせつ 諸説：	ぎ む きょういく 義務教育：
いりょう 医療：	な ごり 名残：
はったつ 発達する：	しきたり：
えきびょう 疫病：	はかま 袴：
えいよう ぶ そく 栄養不足：	ち とせあめ 千歳飴：
にゅうよう じ 乳幼児：	えん ぎ 縁起もの：
し ぼうりつ 死亡率：	せきはん 赤飯：
むか 迎える：	しんせき 親戚：
かみ め 神に召される：	うちいわ 内祝い：

使いましょう

1 ～まで（は／に）

◆七つを迎えるまでは、無事に大人になるかどうか分からないというのが現実でした。

◇兄はいつも夜遅くまで、_____ています。

◇子どもが帰ってくるまでに、_____なければなりません。

2 ～として

◆七五三というのは、子どもを社会の一員として受け入れる行事でもあったのです。

◇_____として、一万円いただきます。

◇今日は_____としてではなく、一人の_____として、君に話したいことがある。

3 お～します

◆お参りする／お祝いする

◇「雨ですね。」「私の傘でよければ、_____しましょうか。」

◇ちょっと_____しますが、近くに郵便局はございませんか。

きんろうかんしゃ ひ 勤労感謝の日

せんぜん
戦前は、11月23日に「新嘗祭」が行われていました。「新嘗祭」は
ふる くに たいせつ
古くから国の大切な行事で、「瑞穂の国（日本の美称）」の祭祀を司る
さいこうせきにんしゃ てんのう こくみん だいひょう かみ のうさくぶつ めく かんしゃ
最高責任者である天皇が国民を代表して、神に農作物の恵みに感謝する
しきてん
式典でした。

この「新嘗祭」は1948年に「勤労感謝の日」に、
かいめい しゆくじつ
改名されて、国民の祝日となりましたが、改名にあ
たっては、ほんらい
本来の「新嘗祭」として祝うべきだなど、



さまざまな意見がありました。しかし、こんにち ろう
働」は農業だけでなく、こうぎょう
工業やサービス業なども含んだ幅広い意味を持
つようになっているので、現在の「勤労感謝の日」となりました。

新しいことば

にいなめさい
新嘗祭：

みず ほ くに
瑞穂の国；

さい し つかさど
祭祀を司る：

さいこうせきにんしゃ
最高責任者：

てんのう
天皇：

のうさくぶつ
農作物：

めく
恵み：

しきてん
式典：

きんろうかんしゃ ひ
勤労感謝の日：

かいめい
改名する：

～にあたって：

ほんらい
本来：

～べきだ：

こうぎょう
工業：

サービス業：

はばひろ
幅広い：



にいなめさい しきてん 「新嘗祭」の式典

「新嘗祭」はごこくほうじょう いの
「新嘗祭」は五穀豊穰を祈る大切な式典
で、天皇が神に感謝し、みずか
自らもその年に
とれたしんまいを食べるぎしき
儀式です。

【話しましょう】

- 1 七五三というのは、どのような儀式のことですか。
- 2 「七つ前は神の子」というのは、どういうことを表していますか。
- 3 「とुरゃんせ」の歌詞の終わりが「行きはよいよい、帰りは怖い」となっているのはどうしてですか。
- 4 七五三が終わった子どもは、その社会でどのように迎えられましたか。
- 5 現在の七五三は、どのようになっていますか。
- 6 あなたの国では、七五三のような子どもの成長を祝う儀式がありますか。
- 7 あなたの国では、子どもの成長を祝うときに、どのような物を食べる習慣しゅうかんがありますか。また、どうしてそれを食べるか知っていますか。
- 8 あなたの国には、秋あきの五穀ごこくの実みのりを祝う行事がありますか。あれば、紹介しょうかいしてください。
- 9 あなたの国には、「勤労感謝の日」のような祝日がありますか。あれば、紹介してください。
- 10 日本では食事しょくじの前まえに「いただきます」と言いいますが、それは「あなたの命いのちを私がいただきます」と命への感謝を表すと言われます。あなたの国では食事の前になんと言いますか。どうしてそういうか知っていますか。

— 11月（霜月）の暦 —

1 文化の日（11月3日）



戦前は、11月3日を明治節といい、明治天皇の遺徳を偲ぶための祝日でした。しかし、戦後は廃止され、「自由と平和を愛し、文化をすすめる」という趣旨のもとに、文化の日に改定されました。

この日には文化を称える行事として、皇居で文化勲章の授与式が行われます。また文化庁主催に

よる芸術祭が開催されています。

2 太陽暦採用記念日（11月9日）

1892年11月9日、太陰暦が廃止され、太陽暦が採用されました。この年の12月3日が明治6年1月1日と改められましたが、12月がたった2日間しかないことになり、このとき、世の中は大騒ぎになったそうです。



3 世界平和記念日（11月11日）

1918年11月11日、第一次世界大戦の休戦協定が成立し、不戦条約が交わされた日です。それを記念して、この日を世界平和記念日とすることが決まりましたが、永遠の平和に対する願いも空しく、1939年には、再び第二次世界大戦が起こってしまいました。

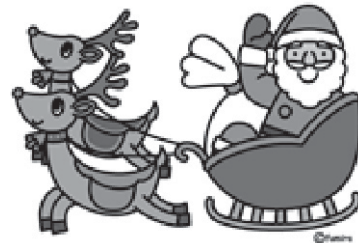
4 七五三（11月15日）

5 勤労感謝の日（11月23日）

12月の行事とくらし

クリスマスと除夜の鐘

12月24日～25日のクリスマスはキリストの生誕を祝う日で、キリスト教圏の人々は、教会でミサをした後、厳粛にキリストの生誕を祝います。



クリスマスは、フランシスコ・ザビエルが日本にキリスト教を伝えてから、450年の歴史があります。日露戦争のころには、すでに日本文化の一部となっていました。しかし日本では、宗教的な意味は薄れ、パーティを開いたりプレゼントを交換する、年末の楽しい行事になっています。街には色とりどりのクリスマス・ツリーが輝き、クリスマス・ソングがにぎやかに流れます。



<年越しそば>

「師走」とはよく言ったもので、クリスマスが終わると、慌ただしく年の暮れがやってきます。一年の最後の日を大晦日と言いますが、大晦日にそばを食べるのは、そばが長いことから、命や幸せが長く続くことを祈る縁起ものだからです。大晦日には、自宅でNHK紅白歌合戦を聞きながら年を越す人もいますし、お寺にお参りして、そのまま除夜の鐘を聞きながら新年を迎える人もいます。山に登ったり、海辺に宿を取り、元旦に初日の出を拝む人もいます。除夜の鐘というのは、中国の宋の時代に始まった仏教行事ですが、江戸時代以降、日本でも盛んに行われるようになりました。除夜の鐘は、百八つありますが、これは人間が持つ108の煩惱を払うという意味があると言われます。最後の一つは、年が明けてからつきますが、除夜の鐘が鳴り終わると、いよいよ新年です。



<除夜の鐘>

新しいことば

クリスマス：	～とはよく言ったもので：
キリスト（教）：	慌 ^{あわ} ただしい：
生誕 ^{せいたん} ：	年の暮 ^{としく} れ：
教会 ^{きょうかい} ：	大晦日 ^{おおみそか} ：
ミサ：	そば（蕎麦）：
厳肅 ^{げんしゆく} （な）：	自宅 ^{じたく} ：
歴史 ^{れきし} ：	紅白歌合戦 ^{こうはくたがっせん} ：
すでに：	除夜 ^{じよや} の鐘 ^{かね} ：
色とりどり：	海辺 ^{うみべ} ：
クリスマス・ツリー：	宿 ^{やど} を取る：
輝 ^{かがや} く：	初日 ^{はつひ} の出 ^で を拜 ^{おが} む：
クリスマス・ソング：	煩悩 ^{ぼんのう} を払 ^{はら} う：
師走 ^{しわす} ：	いよいよ：

使いましょう

1 ～と／～ないと

◆クリスマスが終わると、慌ただしく年の暮れがやってきます。

◇ _____と、困^{こま}ります。

◇ 毎年^{まいとし}、クリスマスになると、_____。

2 ～のは～からです

◆大晦日にそばを食べるのは、命や幸せが長く続くことを祈る縁起ものだからです。

◇私が怒っているのは、あなたが_____からです。

◇彼^{かれ}が_____のは、一生懸命^{いっしょうけんめい}がんばったからです。

3 ～ながら

◆自宅でNHK紅白歌合戦を聞きながら年を越す人もいます。

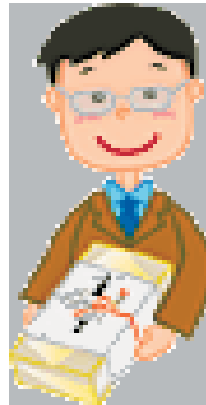
◇_____ながらタバコを吸^すうのは、やめてください。

◇_____ながら_____のは、よくないことですよ。

お歳暮を贈る

お歳暮は、もともと嫁いだ者や分家した者が年の瀬に親元に戻るとき、正月のお供え物を持参したのが始まりとされています。それが、一年の締めくくりに感謝のしるしとして、お世話になった方に品物を贈りあう習慣になりました。

今ではデパートなどから送ることが多く、品物も日用雑貨、趣味の品などいろいろです。金額はお中元の2～3割増しを目安にし、先方には12月の初旬から20日ぐらいまでに届くようにします。31日を過ぎた場合は、「お年賀」として手渡すといいでしょう。



新しいことば

お歳暮：

嫁ぐ：

年の瀬：

親元：

供え物：

持参する：

締めくくり：

感謝のしるし；

日用雑貨：

目安：

先方：

手渡す：



年賀状

年も暮れが迫ると、年賀状を書きます。年賀状を書き終えて、やっと一安心。これが日本人の年の瀬です。

【話しましょう】

- 1 クリスマスというのは、どのような日ですか。
- 2 日本にキリスト教を伝えたのは誰で、いつごろのことですか。
- 3 日本の今のクリスマスはどのようなようですか。
- 4 日本人は、どうして大晦日におそばを食べますか。
- 5 除夜の鐘は、どうして108回つくのですか。
- 6 お歳暮というのは、どういうものですか。
- 7 あなたの国では、クリスマスのお祝いをしますか。
- 8 あなたの国では、クリスマスにどのようなことをしますか。
- 9 あなたの国には、お歳暮や年賀状を書く習慣がありますか。
- 10 あなたの国では、大晦日をどのようにして過すごしますか。

— 12月（師走）の暦 —

1 冬至（12月22日ごろ）

毎年12月22日ごろが冬至にあたり、一年で最も昼が短く、夜が長い日です。このころからしだいに寒さも本格的になります。冬至にはかぼちゃを食べる習慣がありますが、野菜が不足しがちなこの時期に、ビタミンやカロチンを摂るといふ合理性があり、昔の人は「冬至までとっておいたかぼちゃを食べると魔除けになる」と考えていました。

2 天皇誕生日（12月23日）

12月23日は「天皇の誕生日を祝う日」として法律で定められました。戦前は天皇は現人神として崇められており、「天長節」と呼ばれていました。しかし戦後、天皇は神ではなく「日本国民統合の象徴」という新しい意味を持つようになりました。そこで天皇の誕生日を純粋に誕生日として祝い、国民と天皇との距離を縮めることを目的として、国民の祝日「天皇誕生日」となりました。



3 クリスマス（12月24日夜～25日）

4 ご用納め（12月28日）

ご用納めというのは、官庁や役所などがその年の執務を終わることで、一般的には12月28日のことを言います。その反対に、執務を始めることをご用始めといい、1月4日がご用始めとなります。つまり、官庁や役所は、12月29日から1月3日までが休みとなります。

5 大晦日（12月31日）

中級前期～中級後期

第二部

くらしのマナー

1 お辞儀と握手

お辞儀と握手は、代表的な挨拶の形ですが、お辞儀は相手への敬意を表し、握手は親睦・和解を表すという違いがあります。日本での丁寧な挨拶はお辞儀が一般的でしたが、近年では握手も一般化してきています。



お辞儀は、主に東アジアで見られるものですが、飛鳥～奈良時代、中国の礼法を取り入れ、身分に応じたお辞儀の形が制定されたのが、お辞儀の始まりとされています。首を差し出すことで、敵意がないことを表現したことに由来すると言われています。

お辞儀には「立礼」「座礼」 和式礼法・普通礼

の2種類があります。座礼は和式礼法ですから、なじみが薄いと思いますが、和風の畳の部屋に通されたとき、初対面の挨拶のときなどに必要となります。



オフィスでのお辞儀は「立礼」ですが、礼の深さで分類すると、「最敬礼」「敬礼」「会釈」の3種類があります。立礼の場合、「最敬礼」は直立の姿勢から腰を基点に45度以上体を曲げます。「敬礼」は30～45度、「会釈」は15度程度です。頭を下げるだけのお辞儀はいけません。腰を基点に上半身全体を前に倒します。1拍目でサッと倒し、2拍目で止めて、3～5拍目でゆっくりと体を起こします。この動きの緩急と静止した状態のメリハリが美しさを生みます。

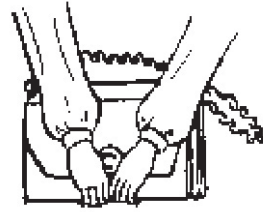


最敬礼：特に敬意を表したり、お詫びの気持ちを真剣に伝えたい時に使います。

敬礼：来客を出迎えたり、見送るとき、または、上司への挨拶などに使う一般的なお辞儀です。

会釈：同僚や上司と廊下などですれ違う時や、応接室の入退室時に使うお辞儀です。

なお、手にハンドバッグとか荷物とかを持っているときですが、右のイラストのように、前に抱えるようにしてお辞儀をするといいでしょう。



西洋の挨拶は握手がメインですが、握手は一般的に右手で、立って行います。握手の由来は諸説ありますが、手に武器を持っていないことを、相手に証明することから始まったと言う説が有力です。

握手は背筋を伸ばし、必ず相手の顔（目）を見て行います。握手の際は、しっかりと握るようにしましょう。ゆるく握っては相手に誠意がないと感じさせてしまいます。なお、握手のときは、目上・年上の人から目下・年下の人へと手を差し出すのがマナーです。握手は手が触れあうので、そうした行為を目下から目上の人に対して強いるのは失礼だからです。女性と男性では、女性から手を差し出します。これはレディーファーストですね。しかし、日本では女性と男性の場合には握手をしないで、軽くお辞儀をすることが多いようです。

もう一つ注意してほしいことがあります。日本人によくある光景ですが、お辞儀をしながら握手をするのは、卑屈に見えますから、やめましょう。また、椅子などに座りながら握手をする人がいるのですが、握手は立って行うのがマナーなので、これもいけません。これらは、社会人の心得なので覚えておきましょうね。

新しいことば

お辞儀：
しぎ

握手：
あくしゅ

挨拶：
あいさつ

敬意：
けい い

親睦：
しんぼく

和解：
わかい

主に：
おも

東アジア：
ひがし

身分：
みぶん

～に^{おう}応じる：

敵意：
てき い

立礼：
りつれい

座礼：
ざれい

和式礼法：
わしきれいほう

なじみが^{うす}薄い：

初対面：
しょたいめん

オフィス：

(最)敬礼：
さい けいれい

会釈：
えしゃく

直立：
ちよくりつ

姿勢：
しせい

基点：
きてん

曲げる：
ま

緩急：
かんきゅう

メリハリ：

お詫び：
わ

真剣 (な)：
しんけん

来客：
らいきゃく

出迎える：
でむか

見送る：
みおく

或いは：
ある

すれ違^{ちが}う：

応接室：
おうせつしつ

なお：

ハンドバッグ：

抱える：
かか

メイン：

武器：
ぶき

証明する：
しょうめい

説：
せつ

有力 (な)：
ゆうりよく

背筋^のを伸ばす：

～際：
さい

誠意：
せい い

印象：
いんしょう

差し出す：
さしだ

触れあう：
ふ

～に対して：
たい

強いる：
し

失礼：
しつれい

レディーファースト：

卑屈 (な)：
ひくつ

心得：
こころえ

2 あいさつと名刺^{めいし}

みなさんは「挨拶」の語源をご存知ですか？「挨」には心を開くという意味があり、「拶」には相手に近づくという意味があります。つまり、あいさつは「心開いて、相手に近づいていく」という意味なのです。

昔から日本人は、他人と外で出会ったり、すれ違ったりした際は、たとえ見知らぬ人でも、声をかけるのが一般的な礼儀でした。挨拶ができないものは、一人前とはみなされませんでした。今でも日本では、会社や近所関係など各コミュニティの中で、そういった傾向が強く残っています。

朝会ったときのあいさつ「おはよう」は、「早くから、ご苦労さまです」の略だと言われています。それは朝から働く人をねぎらう言葉でした。「こんにちは」は「今日は、ご機嫌いかがですか」の略で、お昼に初めて出会った人の体調や心境を気づかしていました。「こんばんは」は「今晚は、よい晩ですね」など略だと言われます。また、「さようなら」は「さようならば」の略で、「それなら、私はこれで失礼いたします」という意味だったそうです。

会社では、外出する上司・先輩にはもちろん、同僚への「行ってらっしゃい」、外出から帰ってきたら「お帰りなさい」、仕事が終わって帰宅する人への「お疲れさま」などのあいさつは、忘れてはならない礼儀でしょう。

さて、ビジネスの世界のあいさつに欠かせないのが名刺です。初対面のとき、一般的には「お世話になっております、〇〇商事のXXでございます」のように名乗りながら、名刺を渡します。名刺はその人の身分証明書であり、

名刺を丁寧に扱うことで、相手に敬意を払っていることを表します。

名刺交換のときは、まず目下の人が目上の人に渡します。一方、先方への訪問の際は、「お邪魔します」という意味を込めて、訪問者が先に出します。ただし、訪問者の方が明らかに目上・格上の場合は、訪問を受けた側が先に出します。



名刺は世界中で使われていますが、最も古いのは中国で、唐の時代の文献には木や竹製の名刺についての記述があります。「名刺」という言葉そのものが、中国の古語なのです。当時は、訪問先が不在の際に、戸口の際間に挟んで、来訪を知らせる目的で使われたようです。日本では、江戸時代から和紙に墨で名前を書いた名刺が使われ始めました。その後、初対面の人にも自己紹介がわりに名刺を渡すようになりますが、それは日本が最初だと言われています。日本は今でも世界で最も名刺交換をする国と言われますが、この名刺交換の習慣は、日本の文化そのものと言ってもいいでしょう。

ビジネスの挨拶をマスターしましょう

- ◆おはようございます：一日をさわやかにスタートさせましょう。
- ◆こんにちは：相手の気分に変化をつけましょう。
- ◆ありがとうございます：感謝を伝えましょう。
- ◆申し訳ございません：失敗は素直に認めましょう。
- ◆行ってらっしゃい：気持ちよく送り出しましょう。
- ◆お帰りなさい：暖かく迎えますよう。
- ◆行ってまいります：外出を知らせましょう。
- ◆ただいま戻りました：無事に戻ったことを伝えましょう。
- ◆今、お手すきですか：自分から用件を切り出すときに使いましょう。
- ◆失礼いたします：相手の動作を中断させるときに使いましょう。
- ◆お疲れさまでした：相手の苦勞をねぎらいましょう。
- ◆いつもお世話になっております：取引先の人へ感謝を伝えましよう。
- ◆お先に失礼します：退社の際に忘れず言いましょう。

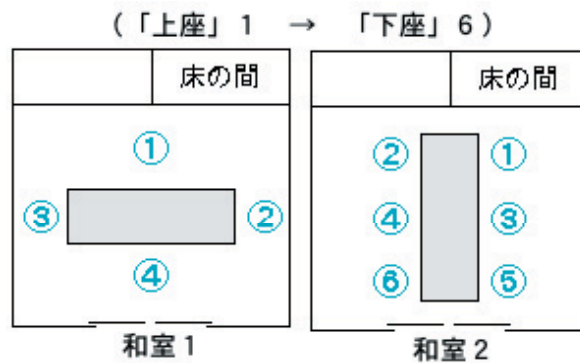
新しいことば

こげん 語源：	さわやか（な）：
こえ 声をかける：	スタートする：
いちにんまえ 一人前：	きぶん 気分：
みなす：	しっぱい 失敗：
ビジネス：	そっちよく 率直（な）：
コミュニティー：	みと 認める：
けいこう 傾向：	がいしゅつ 外出：
～はもちろん：	て お手すき：
くろう ご苦労さま：	ようけん 要件：
ねぎらう：	きだ 切り出す：
きげん ご機嫌いかがですか：	とりひきさき 取引先：
か 欠かせない：	たいしや 退社：
めいし 名刺：	
なの 名乗る：	
みぶんしょうめいしょ 身分証明書：	
けい い ほん 敬意を払う：	
あき 明らか（な）：	
かくうえ 格上：	
ぶんけん 文献：	
きじゆつ 記述：	
そのもの：	
こご 古語：	
ふざい 不在：	
こくち 戸口：	
すきま 隙間：	
はさ 挟む：	
わし 和紙：	
すみ 墨：	
じこしょうかい 自己紹介がわり：	

3 かみざ しもざ 上座と下座

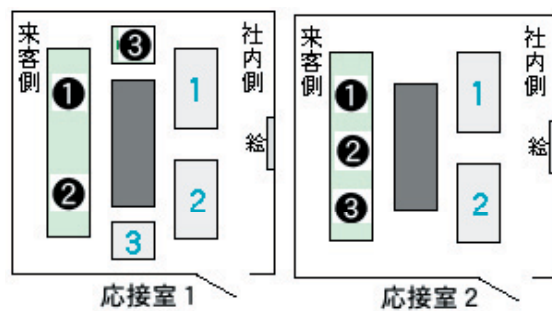
ご存じの方も多いでしょうが、上座は目上の人（上司・客人など）が座る席、下座は目下の人（部下や家族など、もてなす側）が座る席です。ビジネスの世界ではこの席次が重んじられますから、ぜひ知っておいてくださいね。「かみざ」「しもざ」または「じょうざ」「げざ」とも呼ばれます。

一般に、和室では床の間に近い席が上座、部屋の出入り口に近い席が下座となります。床の間がない部屋では、出入り口から向かって右手奥や、庭などの見晴らしがよく、額や飾り物がある側が「上座」になります。



なぜ床の間の近くが上座になったのでしょうか。それは床の間の歴史をみるとわかります。床の間は書院造りの特徴で、もともと床の間は仏画をかける神聖な場所であったため、部屋の一番奥の、出入り口から遠くて落ち着いた場所に造られました。そのため、客人や身分の高い人には、その神聖で落ち着く場所に、座ってもらうようになったのです。

会社の応接室では、部屋の入口から遠く、かつ入口が見えるところ、窓から景色などがよく見えて、部屋の装飾品や絵画・花などが観賞できる席が上座になります。そして、来客側にゆったり座ってい



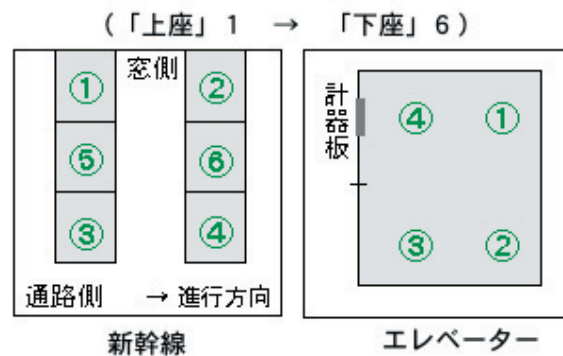
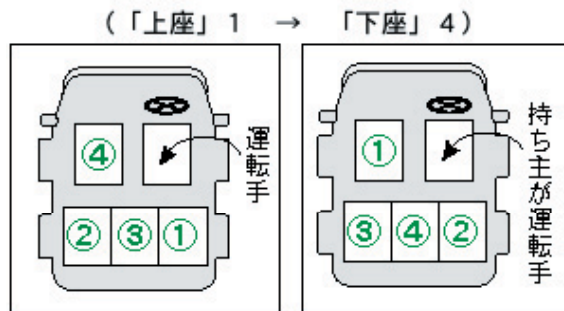
ただために、長椅子やソファを配置するのが礼儀です。出入り口に近い方が下座なのは、出入りが頻繁にあると、落ち着かない気分になるため、大事な人を座らせるわけにはいかないからです。

座」となります。また、持ち主
 本人が運転する場合は助手席が
 「上座」となります。タクシー
 などでは、目下の者が精算をし
 て降りることを忘れないでくだ
 さい。

新幹線のような場合、進行方
 向を向いて、座る位置の窓側が
 上座です。通路側は下座になり
 ます。しかし、「上座」の席に
 破損や座り心地が悪いなどの不
 備がある場合は、そのことを伝
 えて、自らその席に座るよう
 にしましょう。

エレベーターでは、入口から向かって左奥から順番に上座で、手前の操作ボ
 タンのある方が一番の下座です。ボタンの位置が左右どちらであっても、奥の
 位置は変わりません。

以上が原則なのですが、上座であっても冷暖房の風が直接当たる、また直射
 日光が当たる、逆光で目上の人が心地よく過ごせないなどの場合があります。
 そんなときには、その時々状況に合わせて席を勧めるのが、ほんとうに相手
 を気づかったおもてなしと言えるでしょう。



新しいことば

ぞん ご存じ：	タクシー：
かみざ 上座：	せいさん 精算する：
しもざ 下座：	しんかんせん 新幹線：
もてなす：	しんこうほうこう 進行方向：
せきじ 席次：	まどがわ 窓側：
おも 重んじる：	つうろがわ 通路側：
とこま 床の間：	はそん 破損：
みほ 見晴らし：	すわごこち 座り心地：
がく 額：	ふび 不備：
しよいんづく 書院造り：	てまえ 手前：
とくちよう 特徴：	そうさ 操作ボタン：
そうりよ 僧侶：	げんそく 原則：
けいてん 経典：	れいだんぼう 冷暖房：
げんけい 原型：	ちよくしやにっこう 直射日光：
と 取り入れる：	ぎやっこう 逆光：
ぶつが 仏画：	ごこち 心地よい：
しんせい 神聖（な）：	じようきよう 状況：
おつ 落ち着く：	き 気づかう：
かつ：	
けしき 景色：	
そうしよくひん 装飾品：	
かいが 絵画：	
かんしやう 鑑賞する：	
ゆったり：	
ソファー：	
はいち 配置する：	
ひんぼん 頻繁（な）：	
～わけにはいかない：	
じよしゆせき 助手席：	

4 て せんべつ 手みやげと餞別

日本では知人やオフィスを訪ねるとき、菓子折などを持っていく習慣があります。これを手みやげと言います。

手みやげには、縁談や就職の世話を願うなど、改まった訪問のときに持っていくものと、親交を深めるために友人と会うときに持っていくものとあります。改まった訪問のときの手みやげには、やはり改まった品がいいでしょう。行く途中で買うのではなく、事前に心を込めて選んだ品を用意しておきましょう。お菓子なら、老舗や名店の品格の感じられるものがいいでしょう。

お祝い事なら、お酒やお祝いの品が適しています。のし紙には「ご銘菓」あるいは「粗品」と表書きし、下には姓だけでなく名前も書くのが正式です。手みやげをいつ手渡すかですが、先方であいさつをした後、「ごあいさつのしるしに」とか「つまらないものですが」とか言って風呂敷や袋から取り出し、品物の正面を相手に向けて、両手で差し出すのが和式マナーです。受け取る方は、ありがたくいただき、一旦、座敷の高いところに納め、次にその場を離れるときに持って出ます。なお、風呂敷や空袋は自分で持ち帰ります。

以上が正式の手みやげ授受の作法なのですが、親交が目的の場合の手みやげは、形式ばったり、気取ったりする必要はありません。手づくりのケーキやジャム、庭に咲いた花なども喜ばれるでしょう。受け取るほうも体裁ではなく、率直な気持ちを表すことが大切です。手みやげを出されたら「開けてもいいですか」と断って、その場で包みをひらき、すぐに「うれしい」とか「素敵」と感想を伝えます。品物が花なら、すぐ花瓶に活けて部屋に飾りますし、食品なら器に盛って、「いっしょにいただきますしよ。」と勧めます。その場で開けて喜びを表すのは、日本の古い作法



ではよくないとされていましたが、^{おうべいしゃかい}欧米社会ではこれがマナーですし、^{した}親しい
^{あいだから}間柄には^{しき}欧米風の^{しぜん}ほうが自然ではないでしょうか。

^{せんべつ}饂別には、^{てんきよ てんしよく かた}転居・転職する方へ、「これからもよろしく」「お^{げんき}元気で」と心を
^こ込めて贈る場合と、^{りょこう}旅行に出る方へ贈る場合とがあります。転居先や^{さき}旅先で役
^だ立つような^{ぶつびん きんせん}物品や金銭を贈るのですが、欧米では饂別に金銭を贈ることはない
ようです。

転居・転職の場合は、親しくしていた^{きんじよ}近所の方や^{しよくばなかも}職場仲間に、^{わか}お別れの二〜



<結びきりの水引>

^{しゅうかんまえ}三週間前から^{とうじつ}当日までに贈るといいでしょう。体裁は、
^{こうはくごほん むす}紅白五本の^{みずひき}結びきりの水引がついた、^{がみ}のし紙かの^{ぶくろ}し袋
に「饂別」「はなむけ」などと書きます。ただし、^め目
^{うえ}上の人には「饂別」と書くと^{しつれい}失礼にあたるので、その
場合は「^{おんれい}御礼」と書きます。饂別への^{かえ}お返しは必要あ
りませんが、^{あたら}新しい^{とち}土地や^{ぶじうつ}職場に^{ほう}無事移ったという報
^{こく}告を添えて、^{かなら}必ず^{れいじよう}礼状を出しましょう。

旅行する人への饂別については、^{とくべつ}特別の目的や^{たちば}立場での^{かぎ}旅行に限って饂別を
贈るといのが一般的です。例えば^{たいと}重要な^{じゅうよう}意味のあ
る^{かいぎ}会議や^{かいごう}会合に^{しゅっせき}出席する場合、^{だいひよう}何かの^{ちよお}代表として^{ちよお}催
しなどに^{さんか}参加する場合、^{ちようき}長期間^{かんかいがい}海外に^{たいざい}滞在するよう
な場合があります。旅の^{じゅんぴ}準備を^{はじ}始めるころから^{しゅつぱつ}出発
^{いちりょうじつまえ}の一兩日前までに贈るようにします。体裁は紅白の
^{はなむす}花結びの水引きを使います。



<花結びの水引>

最後に^{さいご}参考までにお話ししますが、^{さんこう}日本からの^{みやげ}お土産で^{よるこ}外国の方に喜ばれる
贈り物は、^{うきよえ}浮世絵入りの風呂敷や手ぬぐい、^{せんす}扇子・^{うちわ}団扇などだそうです。



新しいことば

<small>おと</small> 訪ねる：	<small>つつ</small> 包み：
<small>か し おり</small> 菓子折：	<small>す て き</small> 素敵 (な)：
<small>て</small> 手みやげ：	<small>かん そう</small> 感想：
<small>えん だん</small> 縁談：	<small>か びん い</small> 花瓶に活ける：
<small>しゅうしよく</small> 就職：	<small>しょくひん</small> 食品：
<small>せ わ</small> 世話：	<small>うつわ も</small> 器に盛る：
<small>あらた</small> 改まる：	<small>すす</small> 勧める：
<small>しんこう ふか</small> 親交を深める：	<small>おうべいしやかい</small> 欧米社会：
やはり：	<small>あいだから</small> 間柄：
<small>しにせ</small> 老舗：	<small>せんべつ</small> 餞別：
<small>めいてん</small> 名店：	<small>てんきよ</small> 転居：
<small>ひんかく</small> 品格：	<small>てんしよく</small> 転職：
<small>がみ</small> のし紙：	<small>むす</small> 結びきり：
<small>めい か</small> ご銘菓：	<small>みずひき</small> 水引：
<small>そしな</small> 粗品：	<small>ぶくろ</small> のし袋：
<small>おもてが</small> 表書きする：	はなむけ：
ごあいさつのしるし：	<small>おんれい</small> 御礼：
<small>ふるしき</small> 風呂敷：	<small>かえ</small> お返し：
<small>あきぶくろ</small> 空袋：	<small>もよお</small> 催し：
<small>ざしき</small> 座敷：	<small>たいざい</small> 滞在する：
<small>おさ</small> 納める：	<small>いちりょうじつ</small> 一両日：
<small>けいしき</small> 形式ばる：	<small>はなむす</small> 花結び：
<small>きど</small> 気取る：	<small>うきよえ</small> 浮世絵：
<small>て</small> 手づくり：	<small>て</small> 手ぬぐい：
ジャム：	<small>せんす</small> 扇子：
<small>ていさい</small> 体裁：	<small>うちわ</small> 団扇：
<small>そっちよく</small> 率直：	
さっそく：	
<small>ことわ</small> 断る：	

5 面接の知識とマナー

面接は、よく「段取り8分！残りの2分は機転と人柄」と言われます。面接に成功する人というのは、日ごろから自分の能力や長所・短所、経験などをきちっと整理して、面接の中で「自分自身を正確に説明できる」人でしょう。



まず、面接へ行く前に、持っていくものや身だしなみのチェックをしておいた方がいいですよ。第一印象はとても大事です。

さて、面接は、求人側が応募者本人と直接会い、応募書類の記入事項の確認と書類だけではつかめない人間性を探るための機会です。社風に合うかどうか、協調性はあるか、仕事への熱意はどうか、人間的な魅力や生き方に信念があるか、などがチェックポイントですが、これから面接の実際の流れにそって、面接のマナーをチェックしてみましょう。

[以下、イラスト等、埼玉県「彩の国仕事発見システム」に基づく。]

1 部屋に入る

面接室のドアをノック（ゆっくり2回）する。
（「お入りください」の聲がかかってから入室）

⇒入室

まず、面接官に軽く一礼【会釈 15度】

「失礼いたします。」

⇒面接官の前まで進む。

⇒椅子の左側に立つ。

- 背筋を伸ばす。踵をつけ、爪先は少し開いて直立不動。
- 手はまっ直ぐ伸ばして、ズボンの折り目に添える（男性）。
- 手は前で重ねる（女性）。



- 笑顔で、明るく、視線は面接官に。
「○○○○（姓名）と申します。よろしく
お願いいたします」【敬礼：30度のお辞儀】



2 椅子に座る

面接官：「○○さんですね。どうぞお座りください。」

求職者（立ったまま）：「はい、ありがとうございます。失礼いたします。」

⇒座る。

- 背中軽く椅子の背に・背筋を伸ばす。
- 手は軽く握って膝の上に置く（男性）。
- 手は重ねて膝の「上」に置く（女性）。



面接官：「私は人事の△△です。こちらは▽▽です。」

「○○さん、貴方の（経歴 / 自己紹介 / 自己
PR…）をしてください。」

求職者：【軽くうなずき、面接官の目を見ながら「はい」と返事】

「はい、私は……………」

（応募書類にまとめてある内容を落ち着いて話す）

3 本論に入る

志望動機、退職理由、性格（長所・短所）、前職の仕事内容、職務経験、

その他さまざまな角度から硬軟織り交ぜた質問がされます。

答え方として、注意するのは以下の点でしょう。

- 求職者は自信ある態度で、ハキハキと答える。
- まず結論を述べる。聞かれたら理由を具体的に説明。
- 質問の意味がわからない時、わからないまま曖昧な答えはしない。
「申しわけありません。もう一度おっしゃっていただけますか。」
「……というのは、……ということでしょうか？」（確認）
- 以前勤めていた会社を非難することは絶対にしない。

- 退職理由をきちんと整理し、前向きな理由にしておく。
- 軽くうなずきながら質問を聴く。はいと返事をして答える。
- 笑顔で相手の目を見て話す。ジェスチャーを交えてもよい。

4 終了から退室まで

面接官：「それでは、最後に何か質問はありますか。」

求職者：「はい、………について、お聞かせください。」

面接官：「はい、それではこれで結構です。結果は〇〇日後に、△△の方法
でご連絡いたします。」

求職者：（椅子の左側に立つ）「本日はありがとうございました
いました。是非よろしく願いたします。」

【心をこめて最敬礼（45度のお辞儀）】

⇒退室 ドアのところで、面接官に一礼【会釈 15度】



面接の流れとマナーについて確認できましたか。

よくある質問事項

- 志望動機はなんですか？
- なぜ、当社に応募したのですか？
- あなたは、当社で何をやりたいのですか？
- あなたは、当社で何ができますか？
- あなたの長所・短所はなんですか？
- あなたの趣味および特技はなんですか？
- 今までの職歴を説明してください。
- 前の会社を退職した理由はなんですか？
- これだけは人に負けないと思うものはなんですか？
- 今までで、一番大きな失敗はなんですか？
- この会社の他に、どのような会社を受けていますか？

新しいことば

めんせつ
面接：

だん ど
段取り：

ぶ
一分：

き てん
機転：

ひとがら
人柄：

ちようしょ
長所：

たんしょ
短所：

けいけん
経験：

じ ぶん じ しん
自分自身：

み
身だしなみ：

チェック：

だいいちいんしょう
第一印象：

きゆうじんがわ
求人側：

おう ぼ しゃ
応募者：

にんげんせい さぐ
人間性を探る：

しゃふう
社風：

きようちようせい
協調性：

ねつ い
熱意：

み りょく
魅力：

しんねん
信念：

きびす
踵をつける：

つまさき
爪先：

ちよくりつ ぶ どう
直立不動：

お め
折り目：

けいれき
経歴：

PR：

うなづく：

し ぼう どう き
志望動機：

ぎょう む ないよう
業務内容：

こうなん お ま
硬軟織り交ぜる：

ハキハキと：

あいまい
曖昧：

ひ なん
非難する：

たいしよくり ゆう
退職理由：

まえ む
前向き：

ジェスチャーを交える：

しゆ み
趣味：

とく ぎ
特技：

しよくれき
職歴：

6 かいしゃ ことば 会社での言葉づかい

1 社内でのあいさつ

● 外出する人へ

「行ってらっしゃい」：(訳)

「おきをつけて」：(訳)

● 外出からもどった人へ

「おかえりなさい」：(訳)

「おつかれさまです」：(訳)

<注：目上の人に「ごめうえ苦労さま」とは言わないように。「ご苦労さま」は目上の人を使うことばです。>

2 時候じこうのあいさつ

● 天候てんこう

「いいおてんきですね」：(訳)

「はっきりしないお天気ですね」：(訳)

「あいにくのお天気ですね」：(訳)

● 春

「ずいぶんあたたかくなりましたね」：(訳)

「すっかり春めいてきましたね」：(訳)

● 夏

「毎日まいにちあつくてたいへん大変ですね」：(訳)

「今年ことしの夏は、格別かくべつに熱いですね」：(訳)

● 秋

「ずいぶんす過ごしやすくなりましたね」：(訳)

「陽ひが短みじかくなりましたね」：(訳)

● 冬

「めっきりさむ寒くなりましたね」：(訳)

「暮れも押し迫ってきましたね」：(訳)

<注：こうしたあいさつ言葉を覚えておくと、会話の取っかかりになります。>

3 謝る

● 謝る

「申しわけございません」：(訳)

「誠に失礼いたしました」：(訳)

● 努力したが、できなかったとき

「お役に立てず、申しわけございません」：(訳)

<注：相手が期待するような結果を出せなかったときは、あれこれ言い訳をしないで、まず謝りましょう。事情を述べるにしても、その後にしきましょう。>

● 反省を表す

「二度とこのようなことのないよう、注意いたします」：(訳)

● 遅刻を詫げる

「大変お待たせして、申しわけございません」：(訳)

「出がけに急用が入ってしまいまして、…」：(訳)

<注：遅刻した理由がある場合は、具体的に説明しましょう。>

● 約束を変更するとき

「誠に勝手なお願いで、申しわけないのですが、…」：(訳)

「大変申しわけありませんが、後日、お約束できませんか」：(訳)

<注：相手を気づかいながら提案します。変更の理由は率直に伝えましょう。>

● 約束を破棄するとき

「この件は、白紙に戻させていただけないでしょうか」：(訳)

「申しわけありませんが、この話はなかったことにさせていただけないでしょうか」：(訳)

<注：自分の都合で一度契約したり、約束したことを破棄する場合は、自分に責任があることを明確にして、心から詫げて謝りましょう。>

4 お礼を言う

● 物ものをもらったとき

「先さきほどは（／先日せんじつは）けっこうな物をいただきまして」：(訳)

「ちょうだいいたします」：(訳)

<注：「ちょうだいいたします」は名刺めいしを受け取るときにも使います。>

● お世話せわになったとき

「お世話になりました」：(訳)

「おそおそい入ります」：(訳)

「ご協力きょうりょくいただきまして、ありがとうございます」：(訳)

5 誘さそう

● 誘さそう

「いろいろお忙いそしいでしょうが、ぜひ…」：(訳)

「みなさま、お誘さそい合わせの上うえ、ぜひ…」：(訳)

● 挨拶あいさつかわり

「お帰かえりの節せつにでも、ぜひお立たち寄よりください」：(訳)

「近ちかくにおこしの際は、ぜひお立たち寄よりください」：(訳)

6 依頼いらいする

● 依頼いらいする

「～していただきたいのですが、お願ねがいできますか」：(訳)

「～していただけませんか」：(訳)

<注：日本では、たとえ上司じょうしが部下ぶかに頼たのむ場合でも、命令口調めいれいこうちょうは避さけます。>

● 前置まえおきの言葉ことば

「突とつぜん然ねがのお願ねがいで恐きょうしゆく縮しゆくですが…」：(訳)

「折おり入いって、ご相あ談いしたいことがあるのですが…」：(訳)

「お手て数すうをおかかけして、申もうしわけありませんが…」：(訳)

<注：人にもものを依頼する時は、前置まえおきの言葉ことばを添そえましょう。>

7 依頼を受ける

● 引き受ける

「承りました」：(訳)

「承知しました」：(訳)

「かしこまりました」：(訳)

● 申し出る

「私にできることでしたら、なんなりとお申しつけください」：(訳)

「どうぞ遠慮なくおっしゃってください」：(訳)

8 相手の呼び方

● 取引先の呼び方

「御社」：(訳)

「貴社」：(訳)

「〇〇社さま／〇〇商事さま」：(訳)

<注：「御社」「貴社」でもかまいませんが、できるだけ「〇〇社さま」のように、正式名称で呼ぶようにしましょう。>

● 自分の会社の呼び方

「弊社」：(訳)

「小社」：(訳)

「当社」：(訳)

● 同僚の呼び方

「〇〇さん」：(訳)

「〇〇くん」：(訳)

● 上司の呼び方

「〇〇課長」：(訳)

「〇〇部長」：(訳)

<注：上司には、姓に役職名をつけて呼びましょう。>

9 話の切り出し方

● 尋ねる

「恐れ入りますが、どちらさまですか」：(訳)

「つかぬことをお伺いしますが」：(訳)

「立ち入ったことを伺うようですが、…」：(訳)

「この点（／件）は、どうなさいますか」：(訳)

<注：お客さまがお見えになったとき、いきなり「どなたですか」と聞くのではなく、「恐れ入りますが」と一言添えた方がいい印象になります。>

● 個人的な話を切り出す

「私事で恐縮ですが、…」：(訳)

「個人的な話ですけれども、実は…」：(訳)

<注：個人的な話を切り出す場合、こうした前置きの言葉を加えましょう。>

10 会社訪問と来客との対応

● 訪問したとき

【約束があるとき】

「お忙しいところを恐れ入ります」：(訳)

「〇〇社の〇〇と申します」：(訳)

「〇〇部の〇〇さまと、〇時にお約束をしているのですが、…」：(訳)

<注：受付で、会社名・氏名、約束している相手の名をはっきりと告げ、呼び出してもらいます。>

【約束がないとき】

「お約束はないのですが、営業部の〇〇様がおいででしたら、お目にかかりたいのですが、…」：(訳)

<注：基本的に約束なしで突然会いに行くのは、礼儀に反します。もし緊急を要することで会いに行く場合でも、丁寧に挨拶し、事情を話します。くれぐれも相手の都合を優先する姿勢を忘れないようにしましょう。>

● 来客への対応

「いらっしゃいませ」：(訳)

「遠いところを、よくお越しくございました」：(訳)

「わざわざお越しいただき、申し訳ございませんでした」：(訳)

● 訪問先から帰るとき

「本日はお忙しいところ、お時間をちょうだいして、申し訳ございませんでした」：(訳)

「遅くまで、ありがとうございました」：(訳)

<注：帰る際は、時間を割いてもらったことへのお礼を忘れないようにしましょう。>

● 来客が帰るときの対応

「また、ぜひお立ち寄りください」：(訳)

「お気をつけてお帰りください」：(訳)

「本日はありがとうございました。〇〇社長（/さま/先生）にも、よろしくお伝えください」：(訳)

<注：来訪者が気持ちよく帰れるような挨拶を心がけましょう。>

7 にじゅうしせつき きせつ はな 二十四節気と季節の花

はる 春

立春（りっしゅん）

- 2月4日ごろ
- 春の始まり。この日から立夏の前日までが春。

雨水（うすい）

- 2月19日ごろ
- 雪の降ることがなくなり、これから雨が降るようになるという意味。



2月の花 水仙

啓蟄（けいちつ）

- 3月5日ごろ
- 冬眠をしていた虫が、穴から出てくるところという意味。



3月の花 桃

春分（しゅんぶん）

- 3月21日ごろ
- 昼夜の長さがほぼ同じになる。この日を境に昼の方が長くなり、本格的な春が始まる。

清明（せいめい）

- 4月5日ごろ
- 清浄明潔の略。気持ちのよい季節という意味。



4月の花 桜

穀雨（こくう）

- 4月20日ごろ
- 春雨が降って百穀を潤し、芽を出させるという意味。

なつ 夏

立夏（りっか）

- 5月5日ごろ
- 夏の始まり。この日から立秋りっしゅうの前日までが夏。

小満（しょうまん）

- 5月21日ごろ
- 陽気ようきがよくなり、草木などの生き物が次第しだいに生長せいちようして生い茂おしげるという意味。



5月の花 菖蒲しょうぶ

芒種（ぼうしゆ）

- 6月6日ごろ
- 芒（のぎ）のある穀物こくもつの種たねをまくころという意味。芒いねというのは、稲などにあるトゲのよとつきうな突起のこと。



6月の花 梔子くちなし

夏至（げし）

- 6月21日ごろ
- 一年中いちねんじゅうで一番ひる昼が長い。

小暑（しょうしょ）

- 7月7日ごろ
- 梅雨つゆあ明けが近く、本格的な暑ほんかくてきあつさが始まるころ。

大暑（たいしょ）

- 7月23日ごろ
- 最ももっと暑いころという意味。



7月の花

あき 秋

立秋（りっしゅう）

- 8月8日ごろ
- 秋の始まり。この日から立冬の前日までが秋。立秋以降の暑さを「残暑」という。



8月の花 芙蓉

処暑（しよしよ）

- 8月23日ごろ
- 暑さが収まるころという意味。

白露（はくろ）

- 9月8日ごろ
- 野の草に露が宿って白く見え、秋の趣がますます深まるころ。



9月の花 竜胆

秋分（しゅうぶん）

- 9月23日ごろ
- 昼夜の長さがほぼ同じになる。この日を境にじょじょに昼の方が短くなる。

寒露（かんろ）

- 10月8日ごろ
- 冷たい露の結ぶころ。

霜降（そうこう）

- 10月24日ごろ
- 霜が降りるころ。



10月の花 紅葉

ふゆ
冬

立冬（りっとう）

- 11月7日ごろ
- 冬の始まり。この日から立春りっしゅんの前日までが冬。

小雪（しょうせつ）

- 11月22日ごろ
- 冷え込みが厳しくなり、小雪こゆきがちらつくころ。

大雪（たいせつ）

- 12月7日ごろ
- 雪ゆきが大いに降り積つもるころ。

冬至（とうじ）

- 12月21日ごろ
- 一年中いちねんじゅう中で一番みじか昼が短い。寒さむさはこれからが厳きびしくなるが、日脚ひあしは徐々じょじょに伸びてくる。

小寒（しょうかん）

- 1月5日ごろ
- 寒気かんきはまだ最高さいこうではないが、寒かんさがいよいよ厳きびしくなっていくころ。この日が「寒かんの入り」で節分せつぶんまでが「寒かんの内うち」。

大寒（だいかん）

- 1月21日ごろ
- 一年中いちねんじゅう中で最もっとも寒いころ。



11月の花 ざくろ



12月の花 うめ



1月の花 つばき